



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-22年度 国際ロータリー第2830地区

地区要覧



RIテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
Serve to Change Lives

地区スローガン

ロータリーライフを楽しもう
Let's Enjoy Rotary Life

C・O・N・T・E・N・T・S

RI会長メッセージ	1	地区資金規定	32
ガバナーメッセージ	3	地区運営資金要綱	34
ガバナーエレクトご挨拶	5	会合旅費等負担一覧表	35
ガバナーノミニーご挨拶	6	国際平和資金規定	38
ガバナー補佐紹介	7	地区表彰実施要綱	39
地区委員会活動計画	10	ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明 (ロータリークラブ)	42
地区組織図	18	ロータリー賞の目標と達成のワークシート (ローターアクトクラブ)	44
地区委員会構成	19	ロータリー賞の目標と達成のワークシート (インターアクトクラブ)	46
地区主要行事予定表	20	ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会	48
ガバナー公式訪問予定表	21	危機管理委員会規定	49
ガバナー公式訪問カレンダー	22		
地区予算書	23	四つのテスト	
特別会計収支計算書	24	ロータリーの目的	
委員会活動予算書	24	ロータリアンの行動規範	
送金カレンダー	25		
報告カレンダー	26		
ロータリー関係事務所一覧	27		
地区内クラブ一覧表	28		
地区事務所	30		



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリー会長
シェカール・メータ

カルカッターマハナガル・ロータリークラブ（インド、西ベンガル州）に所属するメータ氏は、ロータリー国際協議会中の2月1日、次期地区ガバナーに向けて2021-22年度の会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を発表しました。地区ガバナーエレクトを研修するための年次行事である国際協議会は当初、オランダ（米国フロリダ州）で開催予定でしたが、新型コロナウイルス流行のためバーチャル（オンライン）で開催されました。

ロータリーでの奉仕プロジェクトへの参加を通じて自身が人間として成長したことに触れたメータ氏は、その経験を通じてほかの人のニーズに目を向けるようになったと述べました。クラブ入会後もなく、メータ氏はインドの僻村を支援するプロジェクトに参加しました。そこで村人たちの状況を目にしたことで、奉仕への決意が固まりました。「同胞たちが抱える苦境を真に理解しました」とメータ氏は語ります。その後も、子どもへの義肢の寄贈、家庭への安全な水と衛生設備の提供、地域の医療施設の改善など、数々の取り組みに参加しました。

「ロータリーが私の心に火をつけました。自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」とメータ氏。「奉仕が私の生き方となったのです。多くの方々と同じように、「奉仕とは、自分がこの地上に占める空間に対して支払う家賃である」という信条を持つようになりました」

メータ氏は、次期ガバナーに対し、次年度に自らが模範となって導き、測定可能・持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの会員の参加意欲を引きだすよう呼びかけました。また、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を実施することを求めました。

「ガバナーとしての役目が終わるとき、皆さんは、ご自身のリーダーシップ、ご自身がロータリアンとローターアクターに与えたインスピレーションのおかげで、会員による奉仕を通じて世界が前よりもよくなったと感じるはずですよ」

多様性と会員基盤の向上に焦点を当てる

メータ氏は、2021-22年度には会員が女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダーの成功に必要な手段を与えてほしいと述べました。その上で、多様性、公平さ、開放性に対するロータリーの信念を会員が活動の指針とすることが大切であると語りました。「世界各地で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます」

奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要がある、とメータ氏。全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して地区で率先して活動するよう、次期ガバナーに呼びかけました。メータ氏の「each one, bring one」（みんなが一人を入会させよう）は、今後17ヵ月間、全会員がロータリーに一人を入会させることを求めるイニシアチブです。

会員基盤を広げながら、ポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、地域社会への奉仕を続けていくのは野心的な目標であることを認めた上で、「だからこそ皆さんの意欲が駆り立てられるでしょう」とメータ氏。「挑戦に立ち向かうのがロータリアンだからです」

「ロータリーが私の心に火をつけました。

自分の身の回りを超えたところに目を向け、人類全体を考えるようになりました」



シェカール・メータ

Calcutta-Mahanagarロータリークラブ所属
インド（西ベンガル州）

会計士であり、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長。カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクター。

災害救援に熱心に携わり、シェルターボックス（英国）の管理委員も務める。2004年のインド洋大津波の際には、被災した家族のために500戸近い家屋の建築を支援。

南アジアで1,500件以上の心臓外科手術を行ったプログラムを立ち上げる。インド全土での識字率向上をはかる「TEACHプログラム」の創設にもかわり、このプログラムを通じて何千もの学校に支援を提供。

1984年にロータリークラブ入会。RI理事、各種委員会の委員と委員長、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、ロータリー財団専門家グループメンバー、地区ガバナーを歴任。ロータリー財団（インド）の理事長も務める。

超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞。

ラシ夫人と共にメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

会長イニシアチブ

平等とは、平和で豊か、かつ持続可能な世界を築くために必要となる基本的人権です。しかし、世界を見ると、女兒と成人女性は保健や教育などの分野で不平等に直面しており、男性よりも高い確率で暴力と貧困を経験しています。ロータリーは、女兒の健康、教育、福祉、経済的安定の向上に焦点を当てたプロジェクトを優先するよう、クラブと地区に奨励しています。生活改善のためのリソースを利用できるよう支援することで、女兒を守り、その地位向上を図り、公平さを高めるプロジェクトに地域社会の人びとが参加できるよう、クラブ主導の取り組みや、地区補助金とグローバル補助金を活用した取り組みを行いましょ。

ロータリー奉仕デーを実施しましょう：ロータリー会員が地元の人びとと一緒に地域社会の改善に取り組むことのできる参加型の奉仕活動をぜひご計画ください。

会長主催会議に出席しましょう。2021-22年度に開催される一連の会長主催会議では、ロータリークラブや地区が地元や海外で実施している人道的活動にスポットを当てます。

- ・2021年10月4～5日：慶州（韓国）
- ・2021年11月5～7日：ベネチア（イタリア）
- ・2021年11月26～27日：マニラ（フィリピン）
- ・2022年2月4～6日：ハイデラバード（インド）
- ・2022年2月12～13日：フォズ・ド・イグアス（ブラジル）
- ・2022年3月4～5日：マプト（モザンビーク）
- ・2022年6月3～4日：ヒューストン（米国）



「ロータリーライフを楽しもう」 Let's Enjoy Rotary Life

2021-22年度 地区ガバナー

成田 秀治 (五所川原イヴニングRC)

2021-22年度のシェカール・メータRI会長はロータリーの原点である「**超私の奉仕**」というロータリーの標語に大きな感銘を受け、常に人生の北極星としてられました。この言葉は、人々を思いやり、分かち合うことの大切さを教えてくれました。自身にとって奉仕とは、自分よりもほかの人のことを先に考えることです。

奉仕を実践し、奉仕に目覚めたことで単なるロータリークラブ会員から、ロータリアンになった。とご自身の経験を話されました。奉仕にはロータリアンのDNAがある。

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。アルバート・アインシュタインが言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。「**奉仕は誰かの人生ではなく、自分の人生も豊かにする**」と力説されました。奉仕のニーズがさらに高まった今日、来るロータリー年度には、人々のために奉仕し、その人生をより豊かにするために援助していただけるよう、切にお願いされました。この理由から、2021-22年度の私たちのテーマは、

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために (Serve to Change Lives)
と次年度RIテーマを発表されました。

全世界の会員を130万人に増やそう！ そのためには、一人の会員が一人を入会させてください

全世界の会員数は、過去20年間、約120万人のまま横ばいです。このため、2022年7月1日までに130万人に増やすことを目指して「each one, bring one」、各ロータリアンが新会員一人を入会させるようお願いいたします。

全世界で「ロータリー奉仕デー」を開催してください

2021-22年度に少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを計画・開催していただくよう、すべてのクラブにお願いしたいと思います。このイベントは、ロータリー重点分野の一つ以上に該当する地域社会の課題に、ロータリー内外のボランティアと一緒に取り組めるものとする必要があります。このイベントは、職業やロータリーとの関係にかかわらず、地域の家族や協力団体とともに有意義な奉仕に取り組む機会となります。皆さんの意義ある活動を、地域社会の人々に広く知ってもらいましょう。

女子のエンパワメント（能力向上）に取り組んでください

次年度の焦点は「女子のエンパワメント」となります。ロータリーの中核的価値観の一つは「多様性」です。ロータリーのDEI（多様性、公平さ、開放性）に対する信念を表した公式声明もあります。多くの場合、女子は不利な立場に置かれることが多く、私たちが女子のエンパワメントに取り組むことが重要です。ロータリーはすべての子どもに奉仕しますが、特に「女子」に焦点を当てます。世界各国で女子は多くの問題に直面しており、リーダーである皆さんは、こうした女子が抱える問題にロータリーが取り組み、それを和らげるように導くことができます。

地区スローガン

Let's Enjoy Rotary Life

「ロータリーライフを楽しもう」

奉仕するにも、誰かの人生を豊かにするにも、自分の人生を豊かにするにも、会員を増し、参加者の基盤を広げるにしても、まずは自分自身でロータリーを楽しまなければ、すべてが始まりません。自分でロータリー人生を楽しんでいれば、きっと相手にロータリーのすばらしさが伝わると信じています。皆さんと共に「ロータリーライフを楽しもう」と思っています。

《地区目標》

1. 公共イメージ向上（テレビCM、SNSの活用）
2. 退会防止と会員増強（ひとりが一人に声を掛ける）
3. 「ロータリー奉仕デー」・「世界ポリオデー」イベントの実施
4. 新クラブの設立（衛星クラブ、ハイブリッドクラブ、活動分野に基づくクラブ）
5. ローターアクトクラブ（6クラブ）の会員増強
6. デジタル化への対応（My rotary登録率70%）
7. ロータリー賞への挑戦（10クラブ以上）ロータリークラブ・セントラルから自己報告方式
8. 財団寄付：年次基金150ドル／人、ポリオプラス30ドル／人（寄付ゼロクラブゼロ）
9. 米山記念奨学会寄付：特別寄付1万円／人、普通寄付3千円／人（寄付ゼロクラブゼロ）

最後に、COVID-19の世界的なパンデミックが続く中、今年度の国際協議会はフロリダ州オーランドから史上初のネット空間、バーチャル国際協議会の開催となりました。通常会議より長い2月1日～11日となり、原則午後11時よりの本会議と午前11時よりの分科会が繰り返される形です。また、本会議、分科会後には、同期GEが情報交換するオンライン会も開催され、アメリカ時間と日本時間、そしてオンラインと日常と二つの空間を行き来する研修となりましたことを報告します。

プロフィール

2021-22年度ガバナー

成田 秀治（なりた しゅうじ）

五所川原イヴニングロータリークラブ所属

職 業：秀和設計コンサルタント株式会社
代表取締役

職業分類：測 量

経 歴：1960年4月23日

つがる市木造生まれ（61歳）

青森県立木造高等学校卒業

足利大学工学部卒業

ロータリー歴：

1999年7月1日

木造ロータリークラブ入会（現在：つがるRC）

2002-03年度 クラブ幹事

2005-06年度 クラブ会長

2008-09年度 西第1分区（現在：西第1グループ）

ガバナー補佐

2009-10年度 地区インターアクト委員長

2010-14年度 地区青少年奉仕委員長

2015-18年度 地区ポリオ対策委員長

2017年6月19日 五所川原イヴニングRCへ移籍

その他：2017-18年度RI表彰

ポリオのない世界を目指す奉仕賞（地域賞）

メジャードナー、米山功労者



ご挨拶

2021-22年度ガバナーエレクト

田中常浩 (むつRC)

むつロータリークラブ田中常浩と申します。むつロータリークラブは昭和35年（1960年）むつ下北地区、初めてのクラブとして誕生し、今年創立61年になります。

また、クラブ創立50周年記念として、初めて中村義弘氏をガバナーに擁立、クラブ活性化としてとても意義がありました。もうすぐ創立60年記念の機会にもう一度我がクラブからガバナーをとの機運も高まり、幾度もお断りしてきましたが、遂に断り切れなくなり、引き受ける事になりました。昨年2月ガバナーノミニージェグネートとして、7月よりノミニーとして活動、今年7月よりエレクトとしての活動に入ります。

この一年と数ヶ月、自分として何をして来たのか。準備らしい準備もせずにあっという間でした。私自身ロータリー歴は1992年に入会し28年になりますが、まだまだ知らない事ばかりです。今の立場になって初めて真剣に勉強しなければと思い、様々な行事や研修会に参加し、今後に役立てたいのですが、新型コロナウイルスの関係で、zoomでの会議ばかりで対面での会議がありません。地区内は、今年3月より人数を制限し対面とzoomでの会議を実施して来ましたが、まだまだ新型コロナウイルスの影響が心配されるところです。

ロータリーは知人の集まりではなく、友人の集まりだと言います。友を大事に、クラブを大切に、少しでも地域社会のため、世界のため、善意を持って奉仕活動が出来ればと思います。成田年度ガバナーの地区スローガンは「ロータリーライフを楽しもう」です。私自身の能力にも、体力にも無理があるかもしれませんが、仲間と共にロータリーライフを楽しみたいと思っていますので、地区内の皆様方「2022-23年度」の田中も宜しくお願ひし、挨拶と致します。

プロフィール

経歴：1954年むつ市大畑町生まれ（66歳）
むつ工業高校卒業
職業：(有)田中造花店 代表取締役
褒章：奉仕活動優秀ロータリアン
マルチポールハリスフェロー
米山功労者

ロータリー歴：
1992年7月 むつロータリークラブ入会
1995～97年 クラブ幹事
1998～99年 クラブ会長
2003～04年 東第1グループガバナー補佐
2005～14年 地区IAC委員会委員長
2010年10月 地区大会実行委員長
2015～17年 地区IAC翼委員会委員長



ご挨拶

2021-22年度ガバナーノミニー

築 舘 智 大 (八戸RC)

2001年に八戸ロータリークラブに入会させていただきました。入会以来、順風満帆なロータリー歴とは言えない時期もありました。

しかしその度に諸先輩の方々や同年代同時期に入会した仲間になだめられ、励まされながら、ここまで来た様な気がします。

そして、その度に友人が増え、色々な人生の教訓を頂きました。その事に感謝しながら、恩に報いる為に、クラブ会長をお引き受けしました。

今回ガバナーを引き受けるにあたって、私の様に“やっぱりロータリーをやっていて良かったなあ”と思っただけのような、そんな会員が沢山増えますように、これからの3年間で務めてまいります。

現在、コロナ禍の中で皆さん、クラブ運営、地区運営も大変な御苦勞をされています。2023～24年度はどのような世の中になっているか、予断は許されないと思います。

社会全体も、ロータリーもどんどん変わっていきます。

しかし、この様な大変な時期でもチャンスと捉え、諸先輩が築き上げた歴史を継承し、努力に報いる為にも、浅学ではありますが精一杯努力いたします。改革が必要な時が度々出てくるでしょう。その時は皆様に丁寧に説明をして納得を頂きながら進めてまいります。

“ロータリアンの寛容な精神に免じて”とは断じて言いません。方針は未だ決まっていますが、現状に満足することなく、今の今から、ガバナーのお役御免迄の3年間、宜しくお願いします。

プロフィール

生年月日	1955年3月3日	ロータリー歴：	
出身地	青森県八戸市	2001年6月	八戸ロータリークラブ入会
職 業	日本マクドナルド(株)フランチャイジー 有限会社 トムセカンド 代表取締役	2016～18年	地区ローターアクト委員長
最終学歴	工学院大学 電子工学科	2018～19年	クラブ会長
趣 味	溪流釣り・ゴルフ	2020～21年	南グループガバナー補佐

東第1グループガバナー補佐

岡山 信 広 (六ヶ所RC)



この度、東第1グループガバナー補佐を拝命した六ヶ所ロータリークラブ所属の岡山信広と申します。

私のロータリアン歴は以下の通りです。

- 2010～2011年度 六ヶ所RC入会
- 2011～2012年度 クラブ幹事
- 2012～2013年度 クラブ幹事
- 2018～2019年度 クラブ会長

私は1975年5月に六ヶ所村で生まれ、小学校は六ヶ所村、中学は弘前市内、高校は青森市内、大学進学と就職のために一度は青森県外へ出ましたが2002年に父が経営する六ヶ所村を拠点とする(株)岡山建設に役員として入社しました。

RI2830地区には私が通った中学、高校をご卒業された素晴らしい先輩方が数多くいらっしゃり大変な励みになっております。

私とロータリークラブとの出会いは、父・勝廣が六ヶ所RCのチャーターメンバーで父の紹介で入会しました。その父も昨年6月に他界し、私は父の跡を継ぎ建設会社社長業務と風力発電所用地を開発する会社の経営に携わっております。

私は「四つのテスト」が好きです。

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

これらの4つの問いかけが日常的な私の言動の判断基準となっております。経営者という職位は助言や苦言を言ってくれる同僚が不在となります。そのため社長には自らを律する“自律”が必要と私は考えております。その“自律”にはロータリークラブの「四つのテスト」が大変有り難いものとなっております。

成田ガバナーは建設業を経営され、私のロータリアン歴の歴代ガバナーで建設業のガバナーは初めてかと存じますので大変な親近感を感じております。

私は成田ガバナーを支え、ガバナーの声を東第1グループの皆さんにお届けし、ロータリーの友情を深めながら青森県を出発点とし可能な限り広範囲の皆さんに対してロータリー活動と仕事の両方で職業奉仕を出来ればとも考えております。

未熟者の私でございますが、ご指導ご鞭撻なにとぞよろしくお願い申し上げます。

東第2グループガバナー補佐

小比類巻 雅祥 (三沢RC)



コロナの発生により、世界が変わり、日本が変わり、そして、“ロータリー”も変わりました。何より、ロータリーのメインテーマである「親睦」が思うように出来なくなってしまいました。

そして、リモートでの例会、委員会、協議会、地区大会など、これまで考えたこともなかったことがこの1年余りの間にやって来ました。各クラブへのリモート対応にも地区として対応し、時間と手間が必要となっています。

このような厳しい状況の中、2021-22年度・東第2グループガバナー補佐を仰せつかりました三沢ロータリークラブの小比類巻雅祥と申します。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

RIテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」が掲げられ、成田ガバナーは、地区スローガン「ロータリーライフを楽しもう」と提唱されました。正に、この窮屈な社会情勢の中、どうしたら楽しみながらロータリーライフを達成することができるのか！ガバナーのご指導の下、ロータリアンの皆様と一緒に考え、行動して行くことだと思っています。

ガバナー補佐の名前の通り、しっかりとガバナーの要請に応えられるよう“補佐”して行きたいと考えております。

まずは、私も高齢者としての権利がありますので、7月からの新年度には、コロナのワクチン接種を終え、予防を済ませて各クラブを訪問したいと思っておりますので、その節には、よろしくお願いいたします。

西第1グループガバナー補佐

今 淳 一 (つがるRC)



今年度西第1グループガバナー補佐を務めることになりました、つがるRC所属の今淳一と申します。

ガバナー補佐の大役を務めるには不安はありますが、成田秀治ガバナーと西第1グループの橋渡し役として尽力してまいりたいと思っております。

今年度RIのテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」そして地区スローガン「ロータリーライフを楽しもう」が掲げられました。その実現のためにグループ内のロータリアンが意識を持ちながら行動することが大事になると思います。まずは自分自身でロータリーを楽しみながらグループ内の例会に参加したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

西第2グループガバナー補佐

工 藤 昭 義 (板柳RC)



板柳ロータリークラブの工藤昭義です。

今年度、西第2グループのガバナー補佐を務めることになりました。成田秀治ガバナーの地区スローガン『Let's Enjoy Rotary life (ロータリーライフを楽しもう)』に沿って、各クラブと協力しパイプ役になれるよう努めたいと思います。1年間よろしくお願いいたします。

中グループガバナー補佐

蒔 苗 亜希子 (青森北東RC)



2021-22年度中グループのガバナー補佐を承りました青森北東ロータリークラブの蒔苗亜希子です。この度は経歴に合わぬ大役を仰せつかりましたが、些少なりと成田ガバナーの手伝人が出来ますよう精一杯励む所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

私は1971年に青森市に生まれ、県立青森高校から横浜国立大学に進学しその後県外で就職してしばし青森を離れていましたが、離婚を機に2002年に地元に戻り家業でもある不動産業の現社に入社しました。関東で運送業、関西で不動産・建築業と何とも取り留めのない経歴ですが、知識経験が生きてくることもままありましたので、そのまま現社にて営業を経て2019年から代表取締役を務めております。

ロータリーには2009年に知人の紹介で入会しました。入会した時にはロータリーに対する知識は全く無かったのですが、以前より銀行の会合などでご挨拶させて頂いていた方が複数いらっしゃいましたし、ロータリー活動と学びに熱心なクラブなので、何か不明な事がありましたらその都度お話を伺いご指導頂ける環境に恵まれていたと思います。

最初は右も左も分からぬ中、フォーラムや炉辺塾、また屋外での奉仕活動等や米山奨学生との関わりを通じて自分の見聞を広げて頂いたと思っています。

成田ガバナーとは以前リーダーシップ研修会でのファシリテーション中に色々のご意見を伺う機会がありまして、ガバナー就任後の活動に期待をしておりました。そのガバナーの補佐を滞りなく出来ますよう、諸先輩ロータリアンの皆様のご指導を頂きながらこの一年を務めさせて頂けましたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

南グループガバナー補佐

岩 岡 隆 雄 (八戸東RC)



2021-22年度、南グループガバナー補佐を仰せつかりました八戸東ロータリークラブの岩岡隆雄です。

RI会長シェカール・メータ氏のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」、そしてガバナー成田秀治氏の地区スローガン「ロータリーライフを楽しもう」を一緒に深めて参りたいと思います。

コロナ禍の中、成田ガバナーの思い、方針をよく理解し、よりよいクラブ運営が出来ますように心がけて参ります。

そして、南グループ会員の皆さんが実りある充実した年になりますよう努めて参りたいと思います。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

会員増強部門

クラブ拡大・会員増強委員会



委員長
今 春淑
(十和田八甲RC)

成田ガバナー年度にて、クラブ拡大・会員増強委員長を仰せつかりました、今春淑(十和田八甲)です。宜しく申し上げます。国際ロータリー 2021-22年度 シェカール・メータ会長のテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」。成田年度の地区スローガンLet's Enjoy Rotary Life「ロータリーライフを楽しもう」。奉仕するにも、誰かの人生を豊かにするにも、会員増強し、参加者の基盤を広げ、自分自身ロータリーを楽しみ、会員皆様と共にロータリーライフしていきたいと思ひます。

地区目標としては

- ①退会防止と会員増強（ひとりが一人に声を掛ける）
- ②新クラブの設立（衛星クラブ、ハイブリットクラブ、活動分野に基づくクラブ）
- ③ローターアクトクラブ（6クラブ）の会員増強となっております。会員増強の意義、基に、会員増強活動はロータリーの理念が奉仕活動を地域に広める一助になります。会員増強はクラブが地区の経済的な基盤を確立します。会員候補者自身、現会員にとって得がたい仲間が出来、そして経営者として、人として素晴らしい成長の場になります。

クラブ拡大、会員増強委員会としては

- (1) コロナ禍の中、退会防止に向けた対策を講じる。
- (2) 会員増強（ミラクル1200）
 - …会員数を1,200名まで増やす。
 - ・2021年12月末までに、必ず会員ひとりが一人に声を掛ける。
 - ・各クラブの目標（全クラブで純増85名を目指す）

会員数	1名～15名以下クラブ	純増1名
	16名～30名以下クラブ	純増2名
	31名～50名以下クラブ	純増3名
	51名以上のクラブ	純増4名

を目標に頑張っていきます。
- (3) 新クラブの結成
- (4) 公共イメージ向上委員会と連携を図り、会

員維持と会員増強を目的とするPR活動をして参ります。

以上の目標を達成する為には、2830地区の各クラブ、会員皆様からのご協力とご指導をお願い申し上げます。

公共イメージ向上部門

公共イメージ向上委員会



委員長
上野 実穂
(八戸中央RC)

国際ロータリーのイメージ向上、地域での認知度を向上させ会員増強の一助となる様に地元マスコミでPR広告、Facebook、Twitter等SNSを活用しながら一年間活動してまいります。

1. 7月～10月初旬まで地元民放3局で各クラブの奉仕活動をPR放映します。
2. 地区内の様々な行事、各クラブの奉仕活動等をマスコミに取材を依頼しFacebook他SNSに投稿していただく様働きかけます。
3. 地区委員会の会議、インターアクトクラブのオンライン化など技術的支援を出来る様、相談体制を整えサポートしていきます。

社会奉仕・職業奉仕部門

社会奉仕・職業奉仕委員会



委員長
三上 貴生
(弘前RC)

社会奉仕・職業奉仕委員長の三上です。本年度は花田前委員長のもとで行われてきた青森大学にて行われてきた「じょっぱり経済学」を引き続き継続することになります。それに伴い青森大学からの強い要望によりまして“講師はロータリークラブの会員の中から選定して頂きたい”という事でしたので以前講師を務めた方も含めて選定させて頂きました。

会員の皆さまには快諾して頂き感謝申し上げます。近日、青森大学との協定調印式を行う運びとなっております。

また、本年度RI会長シェカール・メータの掲げる「ロータリー奉仕デー」に於いて成田ガバナーから当委員会にも要請がありましたので、お手伝いをさせていただきます。

国際奉仕部門

国際奉仕委員会



委員長

白山 春男

(十和田東RC)

成田ガバナーの基本理念である「世界でよいことをしよう」。

これを受けて関場PDG、鈴木PDGに相談しながら委員の意見を汲み検討し、我が2830地区として可能な事業を計画したいと思います。

条件は相手先にロータリークラブが存在すること、渡航に支障がないこと、比較的安全が保たれていること等を考慮しながらまずは調査をしたいと思います。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会



委員長

佐々木 眞一

(むつ中央RC)

成田ガバナー年度もコロナ禍でロータリー財団活動は影響を受けることが予想されますが、当地区の委員長・委員の皆様の努力で活動は停滞することなく実行される事とおもいます。

成田ガバナー年度からの財団の変更点は数点あります。①シェアシステムのDDFに対してのWF上乗せ比率が100%から80%への変更。②現在財団活動の重点分野は6項目でしたが新たに7つ目として「環境の保全と保護」の項目が加わり、この項目を目的

とした活動が認められる事となりました。③ロータリーアクトクラブが地区補助金・グローバル補助金の申請をして奉仕活動を行う事が可能となりました。申請する際は事前に「ロータリー財団セミナー」を受講していただき、申請方法・活動報告の仕方を学んでいただきます。

地区チーム研修セミナーでは成田ガバナーから財団への活動目標のお願いがあり、五つの小委員会も成田ガバナーの目標達成に協力する事を確認いたしました。

ロータリー財団としての大きな活動の一つ「ロータリー財団セミナー」を年2回開催しておりますが、新型コロナの終息が見えない状態では実施が困難と思われれます。リモート会議などの手法で実施を考えております。

沼田年度・源新年度では新型コロナウイルス対策として初めてグローバル補助金事業を行い、50,000\$の医療用品を県庁に寄贈することができました。ロータリアンの皆様の財団への寄付が感染防止のために使用された事に感謝申し上げ、成田年度も財団へのご理解とご協力をお願いいたします。

ロータリー財団部門

地区補助金委員会



委員長

小田 桐隆夫

(むつRC)

地区補助金委員会は、クラブ会員から3年前の寄付金を原資として、地域のために活用できる補助金です。昨年に続き全クラブの申請を受付し活性化を目指します。

- 7月 財団セミナー
前年度プロジェクトの報告
- 8月 地区補助金振込み予定
- 12月 財団セミナー
次年度地区補助金の要件
- 3月 地区補助金の申請締切
次年度地区補助金の申請
(地区事務所へ)
- 5月 地区補助金の確定

ロータリー財団部門

グローバル補助金委員会



委員長
川崎 益美
(八戸北RC)

タイのRI3330地区との交流で、2012-13年度から『水と衛生の事業』に取り組み現在も継続事業として、取り組んでいます。(ガバナー月信2021年3月号)

COVID-19の関係で人の移動制限があり、2020-21年はRI3330地区とのグローバル補助金の活用は、現地の病院への医療支援に変更されております。(当地区は12,000ドル拠出)

- ①グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野のいずれかに該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められておりますので、今年度はタイのRI3330地区に赴きこれまでの成果とこれからの方向性の再確認をしております。(政府の渡航制限解除が前提)
- ②ガバナー方針に従い、今年度新たに「国際奉仕委員会」が設けられましたので、連携を図り、新たにグローバル補助金を活用できる事業を探ります。
- ③2022年7月からローターアクトクラブもグローバル補助金の申請が可能となるので、アクトクラブへの広報活動を行います。

グローバル補助金の内容や仕組み、及び活動等をよく理解できておりませんでした。ガバナーからの指名でしたので、引き受けることに致しました。財団のプログラムは、『寄付しなければならない』とのイメージがありますが、自分自身勉強して会員の皆様になじみやすいように頑張りたいと思います。一年間宜しくお願い致します。

ロータリー財団部門

資金推進委員会



委員長
木村 由美
(弘前アップルRC)

活動目標

- ・12月末までに寄付0クラブ ゼロに！
- ・一人年次寄付 150\$達成
- ・ポリオプラスへの寄付 一人30\$達成
- ・ロータリーカードの導入

このような寄付のおかげで、人々の人生を変えるような持続可能なプロジェクトが可能となります。

すべてのロータリアンが毎年寄付を行えば、課題がどんなに大きくても変化を生み出す事が出来ます。このコロナ禍ではございますが、今一度一丸となり努力できればと思います。宜しくお願い致します。

ロータリー財団部門

平和フェローシップ・奨学金・学友委員会



委員長
工藤 真人
(青森RC)

平和フェローシップについては、毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用が含まれます。2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1,400人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、115カ国以上で活躍し、政府、NGO、軍、教育、

法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮していますが、提携大学院が日本は国際基督教大学その他は海外の4大学に限定されるなど選考条件も厳しい奨学制度です。

グローバル補助金奨学金は、4年制大学を修了した方（または見込みの方）を対象に、ロータリーの重点分野（・平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展）で活動する未来のリーダーを育成するためのものです。海外に留学を希望する、4年制大学を2年以上修了した方（または見込みの方）を対象に、ロータリー財団の奨学金を提供し、支援しています。

地区補助金奨学金は、高校3年生卒業予定者を募集して、国内の大学へ入った際に奨学金を支給する制度です。

平和フェローシップ奨学生、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生とも今年度も募集いたします。

また、学友の掘起こしを行い、学友の活躍の報告や連絡網の確立に努力します。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

ロータリー財団部門

ポリオプラス対策委員会



委員長
森内 忠良
(青森RC)

関場バスターガバナーを筆頭としたインドへのポリオワクチン投与活動が始まって、二十年が経過した。今後は新型コロナウイルスの感染状況を判断しながら、世界ポリオデー（10月24日）に向けての地区グループごとのイベント開催や、メディア（TV、SNS等）を利用した活動意義の周知などを行うことで、公共イメージの向上をはかっていきたい。

そして何よりも成田ガバナーエレクトがつかないできたインドへのポリオワクチン投与活動の継続を他地区と連携して行っていきたいと思っている。

また、改めて会員の皆さまにポリオプラス30ドル／人以上の寄付金をお願いしたい所存である。

青少年奉仕部門

青少年交換委員会



委員長
細川 勝也
(弘前RC)

1. 「2022-23年度青少年交換派遣学生・来日学生受入れクラブ募集」

世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

なお、国際ロータリーは2022年6月30日まで青少年交換プログラムの中止を決定しています。

よって、2022年8月以降の派遣学生を募集します。新型コロナウイルス感染症等の事情により突然中止になる可能性がございます。ご理解いただき、ご応募ください。

2. 「2022-23年度青少年交換派遣学生募集ポスターの作成・配布」

募集と事業の広報活動として、第2830地区のすべての高校あてにポスターを発送致します。幅広い高校からの人材募集とロータリークラブをPRするためです。

青少年奉仕部門

インターアクト委員会



委員長
松山 隆志
(野辺地RC)

今年度、成田ガバナーより求められている活動は①インターアクト年次大会を開催する、②インターアクトの翼を実施する方向で検討を進める。ということでした。

現下のコロナ禍では、どちらも大きな負担を伴うものですが、「インターアクターのためになること」という大きな目標達成のために鋭意努力していきたいと思います。

①インターアクト年次大会

地区内20校に組織したインターアクトクラブのメンバーが一堂に会し、その活動についての情報を報告し合うとともに、寝食も含め共働することによって友情と親睦を深めることを目的とします。例年、各高校の夏休み期間中にホスト提唱クラブの協力により特色のある大会を盛大に開催していますが、昨年はコロナ禍により、予定していた大会を残念ながら中止せざるを得ませんでした。今年度からは、開催時期、開催方法、大会内容などを慎重に検討した上で「開催」に向けて行動したいと思います。

②インターアクトの翼

高校の冬休み期間を使いインターアクターを海外へ派遣。現地の家庭にホームステイしながら短期間ではありますが異郷での生活を体験、現地高校生と交流することによって、その後の人生への糧としてもらえる大変有意義な企画です。ここ数年は、台湾の現地ロータリークラブの多大なる協力により温かく迎え入れて頂き、大きな成果をあげています。出発前の不安と期待でどおどおどしていた参加者が帰りの飛行機の中では堂々とした顔つきになっているのを目の当たりにすると、是非継続していきたいと思える事業です。これもコロナの影響で途絶してしまいましたが、アフターコロナを見据え関係方面と広く協議の上、実施する方向で調整を重ねていきたいと思います。

委員会として大きな努力目標としては上記2点ですが、今年度はさらに各提唱クラブに対し「各高校インターアクトクラブへの指導をより推進すること」をお願いしたいと思います。各クラブ毎、それぞれの方法でインターアクトクラブへの関与を進めているとは思いますが、これまで経験したことのないコロナ禍の中、奉仕活動等の内容、実施方法等について方向性を見いだせずにいるインターアクトクラブも多いものと推察します。一步踏み込んだ関与によりその一助になれば、より効果的な活動を実行することが出来るものと考えます。各提唱クラブのインターアクト担当の方は、無理のない程度積極的に学校へ足を運び、高校生達と「話」をしてみませんか。

以上、今年度はコロナに翻弄され消極的になるのではなく、ウイズコロナもふまえた新たなスタートの年度となるよう進めていきたいと思います。

すべてはインターアクターのために...

青少年奉仕部門

ローターアクト委員会



委員長

柴田 文彦

(むつ中央RC)

ローターアクトクラブは、2019年9月の国際ロータリーの規定審議会で組織規程を行い改革的な変更が決定しました。

大きく変わったことは、二つあります。一つは、「ロータリークラブとして認める」としたことです。その為人頭分担金の発生やスポンサークラブとの関係も変わります。二つ目は、「30歳を上限としていたことを撤廃しても良い」ことになったことです。従来ローターアクトクラブの弱点でありながら特徴的な事柄がいくとも簡単になくなるなんて魔法のようなできごとです。ロータリーは常に変化し柔軟性をもっていることに対応しなくてはいけないようです。と、同時に若年層でも大きな責任を伴うということを認識し、ローターアクト自身自覚してもらわなくてはなりません。

さて、当第2830地区では現在、青森に2つ、弘前、八戸、五所川原、むつの6つのローターアクトクラブが存在しております。現在地区代表が不在とお聞きしております。RIの大きな変革の前に、一つひとつのローターアクトクラブの充実を図るのが今年度の一番の使命と感じております。と、同時に平行して新クラブの創設と会員増強を図るものです。

宜しくお願い致します。

活動計画

1. 各クラブの充実を図る
2. 地区大会の開催
3. 新クラブ創設、会員増強

青少年奉仕部門

RYLA委員会



委員長

竹内 知弘

(弘前西RC)

RYLA次年度活動予定

2021-2022年度は、ガバナーエレクトのご予定にもよりますが、2022年4月23日(土)から24日(日)に予定したいと考えております。例年どおり1泊2日を考えておりますが、「2泊3日のプログラムの検討を」とエレクトからもありましたので、ちょっぴり考えてみま…す。

RYLAのプログラムとしては、

1. 地域の未来のリーダーに投資をしましょう。
2. そのリーダーの倫理観と自信を養いましょう。
3. 現代の若者が直面する問題について学びましょう。

をコンセプトに、活動をしていきたいと考えております。

それぞれのコンセプトに欠かせないのは、ロータリアンの参加でございます。

若い人たちのへのプログラムではありますが、RYLAをとおしてロータリーのおもしろさを知って頂き、いずれはロータリーへ参加もして頂きたいという隠れた思いもございます。

会員数増加のため、長期戦略計画の投資と考えて奮ってご参加くださればと存じます。

募集人員は、例年18歳から30歳までを対象としていますが、少し対象を拡げられたらと考えております。また昨年度は数名一般企業からの参加もございましたので、是非皆様がたの従業員からの参加も重ねてお願い申し上げます。

米山記念奨学部門

米山記念奨学委員会



委員長

三浦 順子

(弘前アップルRC)

1. 当会への理解や奨学生との交流の場として、できるだけ多くのクラブに卓話をさせていただきたく、各クラブの例会スケジュール調整をお願いします。
2. クラブ例会や地区の行事に参加することにより奨学生にロータリー活動の理解を深めることができるよう、ロータリアンの皆様が折に触れ交流を持ってくださるようお願いします。
3. 地区HPなどを通し広報活動につとめますのでハイライト米山と併せてご一読ください。

この事業は日本と世界の懸け橋となる人材を育てる大切なことです。

さらにはロータリアンひとりひとりのご寄付により成り立つものでもあります。懸け橋となる優秀な人材を一人でも多く育成するため、会員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

活動計画

米山生とカウンセラーの支援 (ZOOM併用)

米山学友組織の強化と支援(前年度を踏襲します)

スケジュール (予定)

12月11日 (土)

次年度のための新米山生面接選考試験

1月29～30日 (土～日)

新春米山の集い

(米山生、カウンセラー、ロータリアン対象)

3月6日 (日) 修了証書授与式

4月3日 (日) 新奨学生とカウンセラーオリエンテーション

5月22日 (日) 米山生卓話講習会

*地区目標は普通寄付3,000円以上、特別寄付1万円以上をなにとぞお願い申し上げます。

ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI委員会



委員長

米谷 恵司

(青森モーニングRC)

RLI委員会委員長を3年連続で拝命致します青森モーニングロータリークラブ所属の米谷恵司です。

RLI (Rotary Leadership Institute) はロータリーリーダーシップ研究会の略語で、1992年アメリカ、ニュージャージー州の元RI理事デビット・リンネット氏の発案で始められました。そして現在は全世界110ヶ国、約300近い地区にロータリーの研究、研修組織として発展しております。また、我が地区はRLIの先進地区となっており、黒田パストガバナーはRLI日本支部特別顧問として、また山崎パストガバナーはRLI地区代表委員、源新ガバナーはRLI地区代表ファシリテーターとしてご活躍されており、沢山のご指導をいただいております。

RLIの研修は予め決められたテーマのもと皆様で自由に意見を出し合うスタイルで行われます。そしてディスカッションリーダー (DL) は進行役として質問を投げかけながら参加者の自発的な考えや意見を引き出していきます。参加者は解答を求めるのではなく、テーマに対する参加者の発言を聞き、自分自身の解答や方向性を見出す研修になっています。この手法はロータリークラブの将来展望を考えるにあたり、クラブを牽引するリーダーの育成、そしてクラブの継続性、刷新性、活性化を図るうえで最も重要な事だと考えます。その為にはロータリアン各自のスキルアップが必要不可欠です。それを実現する為是非ともRLIを活用して頂きたいと考えております。

今年度は昨年度計画通り実施出来なかった、ディスカッションリーダー研修・レベルアップ、資質向上。更にはファシリテーターの養成を目指して参ると共に、オンラインでの実施を模索して参りたいと考えております。

RLI委員会は皆様クラブの益々の発展、活性化の

為、精一杯お手伝い致します所存でございますので、多数の参加を宜しくお願い申し上げます。



SERVE TO CHANGE LIVES

国際ロータリー第2830地区

地区案内

地区組織図	18
地区委員会構成	19
地区主要行事予定表	20
ガバナー公式訪問予定表	21
ガバナー公式訪問カレンダー	22
地区予算書	23
特別会計収支計算書	24
委員会活動予算書	24
送金カレンダー	25
報告カレンダー	26
ロータリー関係事務所一覧	27
地区内クラブ一覧表	28
地区事務所	30

2021-22年度 地区委員会構成

◎委員長 ○副委員長 (敬称略、順不同)

ガバナー	成田 秀治(五所川原イヴニング)				
顧問	島村吉三久(五所川原イヴニング)				
ガバナーエレクト	田中 常浩(むつ)				
副ガバナー	佐々木千佳子(十和田)				
研修委員会	◎小山内康晴(弘前)		○沼田 廣(青森)		
ガバナー指名委員会	長嶺 康廣(八戸南)	◎佐々木千佳子(十和田)	今井 高志(弘前)	沼田 廣(青森)	源新 和彦(八戸北)
地区諮問委員会	黒田 正宏(八戸南) 笹森 剛(弘前) 北山 輝夫(八戸北) 今井 高志(弘前)	関場 慶博(弘前アップル) 鐘ヶ江義光(八戸東) 工藤 武重(弘前西) 沼田 廣(青森)	大柳 繁造(青森) 山崎 淳一(五所川原) 鈴木 唯司(青森モーニング) 源新 和彦(八戸北)	島村吉三久(五所川原イヴニング) 村井 達(八戸) 長嶺 康廣(八戸南)	川口彰五郎(おいらせ) 小山内康晴(弘前) 佐々木千佳子(十和田)
財務委員会	◎三戸 靖史(五所川原イヴニング)		大入 武志(八戸北) 宮川佐紀男(むつ)		
地区表彰委員会	◎源新 和彦(八戸北)		成田 秀治(五所川原イヴニング) 田中 常浩(むつ) ガバナー補佐6名		
国際大会推進委員会	◎成田 秀治(五所川原イヴニング)		○長利 礼治(五所川原イヴニング) ガバナー補佐6名		
R L I 委員会	【日本支部顧問】黒田 正宏(八戸南) ◎米谷 恵司(青森モーニング) 欠畑 茂治(十和田東)	【地区代表委員】山崎 淳一(五所川原) 阿保 康雄(青森モーニング) 三浦 真介(弘前)	【地区代表ファシリテーター】源新 和彦(八戸北) 最上 伸子(青森モーニング) 三浦 基(青森)	石川佳共子(青森)	
戦略計画委員会	◎沼田 廣(青森) ガバナー補佐6名		成田 秀治(五所川原イヴニング)	源新 和彦(八戸北)	田中 常浩(むつ) 築館 智大(八戸)
危機管理委員会	◎関場 慶博(弘前アップル・医師) 白山春男国際奉仕委員長 柴田文彦ローターアクト委員長		成田 秀治(五所川原イヴニング) 上野実穂公共イメージ向上委員長 竹内知弘RYLA委員長	源新 和彦(八戸北) 細川勝也青少年交換委員長 三浦順子米山記念奨学委員長	田中 常浩(むつ) 花田 勝彦(五所川原・弁護士) 松山隆志インターアクト委員長 白取 静子(外部) 角田 妙子(外部)
地区監査委員会・ 地区財団監査委員会	◎今井 高志(弘前) 高木 邦男(五所川原中央) 小林 幹夫(八戸)				
ガバナー補佐	東第1グループ：岡山 信広(六ヶ所) 西第2グループ：工藤 昭義(板柳)		東第2グループ：小比類巻雅祥(三沢) 中グループ：蒔苗亜希子(青森北東)		西第1グループ：今 淳一(つがる) 南グループ：岩岡 隆雄(八戸東)
ロータリーの友地区代表委員	寺田 政史(五所川原中央)				

会員増強部門	アドバイザー：笹森 剛PG 副 // :佐々木千佳子PG	クラブ拡大・ 会員増強委員会	◎今 春淑(十和田八甲) 上野 実穂(八戸中央)	下久保淳一(十和田八甲) 小田桐マキ子(五所川原)	中村 勉(八戸中央)
公共イメージ 向上部門	アドバイザー：今井 高志PG 副 // :鐘ヶ江義光PG	公共イメージ 向上委員会	◎上野 実穂(八戸中央) 三枝慎太郎(青森) 吉田 立盛(八戸南)	赤城麻依子(五所川原イヴニング) 太田 格道(十和田八甲) 橋本八右衛門(八戸)	花田 仁(三沢東) 中畑 肇(弘前西)
社会奉仕・ 職業奉仕部門	アドバイザー：工藤 武重PG 副 // :源新 和彦PG	社会奉仕・ 職業奉仕委員会	◎三上 貴生(弘前) 蒔苗 俊二(弘前西)	小田桐 浩(五所川原イヴニング) 村塚 正隆(青森モーニング)	榎引 大樹(青森)
国際奉仕部門	アドバイザー：関場 慶博PG 副 // :鈴木 唯司PG	国際奉仕委員会	◎白山 春男(十和田東) 川崎 益美(八戸北)	○成田 俊介(弘前西) 楠美 知剛(青森)	坂本 幸光(鶴田) 畑中 一之(むつ)
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会 ◎佐々木真一(むつ中央) ○佐藤 健一(青森)	地区補助金委員会	◎小田桐隆夫(むつ) 林 均(青森)	奈良 昭仁(つがる) 田中 正子(青森)	新岡壮太郎(青森モーニング) 大橋 央雅(八戸南)
アドバイザー： 長嶺 康廣PG 副 // :島村吉三久PG		グローバル補助金委員会	◎川崎 益美(八戸北)	源新 育子(八戸北)	
		資金推進委員会	◎木村 由美(弘前アップル)	越田 忠和(青森)	
		平和フェローシップ・ 奨学金・学友委員会	◎工藤 真人(青森)	小林 俊一(青森)	
		ポリオプラス対策委員会	◎森内 忠良(青森)	土橋 伸行(青森モーニング)	
青少年奉仕部門	アドバイザー：村井 達PG 副 // :北山 輝夫PG	青少年交換委員会	◎細川 勝也(弘前) 片野 潤(八戸北)	伊藤 幸生(青森) 桑田 泰孝(黒石)	柿崎 隆雄(八戸東)
		インターアクト委員会	◎松山 隆志(野辺地) 野月 康範(十和田)	光野恵美子(むつ) 伊藤 圓子(八戸中央)	石橋 博仁(三沢)
		ローターアクト委員会	◎柴田 文彦(むつ中央) 中田 吾(弘前)	鎌田 忍(青森) 丸海老 隆(五所川原)	正部家光彦(八戸)
		RYLA委員会	◎竹内 知弘(弘前西) 百田 忠(野辺地)	西田 文仁(青森) 坂部 大介(むつ中央)	三上 信吾(弘前)
米山記念奨学部門	アドバイザー：鈴木 唯司PG 副 // :沼田 廣PG	米山記念奨学委員会	◎三浦 順子(弘前アップル) 佐藤玲恵子(弘前西) 成田 学(弘前アップル)	野坂 幸子(野辺地) 佐藤 一尚(青森) 太田 薫(十和田)	平野 榮子(八戸北) 高井 孝治(つがる)

地区事務所	地区幹事長	澁谷 省吾(五所川原イヴニング)				
	地区副幹事長	山中たける 木皮 美賢 三戸 靖史(五所川原イヴニング)				
	地区会計長	山本 晃嗣(五所川原イヴニング)				
	地区幹事	成田 朋広 成田 和代 松橋 幸治 下山 智 長谷川裕紀 工藤 大(五所川原イヴニング)				
	専属事務員	長利 礼治 小田桐 浩 赤城麻依子 古川 勝治 佐々木一仁(五所川原イヴニング)	花田 勝彦 高瀬 英人 平山 敦士(五所川原) 小山内 修 武井 匡(五所川原中央)			

2021-22年度 地区主要行事予定表

開催年月日		行事名	開催場所	
2021	7月	1(木)	第1回ガバナー会議／ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	(Zoom+YouTube)
		4(日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	(対面+Zoom)
	9月	13(月)～14(火)	ガバナーエレクト研修セミナー《GETS》	グランドプリンスホテル高輪
		15(水)	地区研修リーダーのためのセミナー《DTS》	グランドプリンスホテル新高輪
	10月	16(土)	会長幹事会及び地区指導者育成セミナー・RI会長代理歓迎晩餐会	ホテルサンルート五所川原
		17(日)	地区大会・大懇親会	オルテンシア／ プラザマリユウ五所川原
	12月	5(日)～8(水)	第50回ロータリー研究会ならびに付随プログラム	ホテルオークラ東京
		11(土)	米山奨学生面接選考試験	未定
		12(日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	(対面+Zoom)
		18(土)	ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会	ホテル青森
2022	1月	16(日)～20(木)	ガバナーエレクト国際協議会	アメリカ・オーランド
		29(土)～30(日)	新春米山の集い	未定
	2月	19(土)	南グループIM	八戸グランドホテル
		26(土)	2022-23年度 地区チーム研修セミナー(DTTS)	ホテル青森
	3月	6(日)	米山奨学生 修了証書授与式	未定
		12(土)	2022-23年度 会長エレクト研修セミナー(PETS)	はねやホテル(むつ)
		27(日)	RIJYEM 地区リーダー向け会議	(対面+Zoom)
	4月	3(日)	米山新奨学生・カウンセラー オリエンテーション	未定
		16(土)	西第1グループIM	未定
		21(木)～22(金)	クラブ活性化セミナー2022	未定
		23(土)～24(日)	RYLA	未定
	5月	14(土)	2022-23年度 地区研修・協議会(DTA)	プラザホテルむつ
		22(日)	米山奨学生 卓話講習会	未定
	6月	4(土)～8(水)	国際ロータリー年次大会 ヒューストン大会	アメリカ・ヒューストン

2021-2022年度 ガバナー公式訪問予定表

	クラブ名	例会日	会長・幹事面談	クラブ協議会	公式訪問例会	例会場所
東第1グループ	む つ	9月21日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	むつブランドホテル
	野 辺 地	8月 3日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	野坂ビル 2F
	七 戸	8月19日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	七戸商店会協同組合 2F
	東 北	9月 6日(月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	青森原燃テクノロジーセンター
	む つ 中 央	9月29日(水)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	はねやホテル
	六 ヶ 所	9月30日(木)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	スパハウスろっかぽっか
東第2グループ	三 沢	8月31日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	きざん三沢
	十 和 田	7月20日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	十和田倶楽部
	十 和 田 東	9月16日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	十和田倶楽部
	お い ら せ	7月21日(水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	レストランカワヨグリーンロッジ
	三 沢 東	7月15日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	きざん三沢
	十 和 田 八 甲	9月 1日(水)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	サン・ロイヤルとわだ
西第1グループ	五 所 川 原	7月28日(水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテルサンルート五所川原
	金 木	9月28日(火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	奴寿し
	鱒 ヶ 沢	8月26日(木)	15:30～	16:30～	18:00～19:00	水軍の宿
	鶴 田	8月 2日(月)	10:00～	11:00～	12:00～13:00	鶴田町役場国際交流会館
	五所川原中央	9月 2日(木)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	ホテルサンルート五所川原
	つ が る	8月10日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	つがる市森田農村環境改善センター
	五所川原イブニング	10月14日(木)	15:00～	16:00～	17:00～18:00	ホテルサンルート五所川原
西第2グループ	弘 前	7月26日(月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテルニューキャッスル
	弘 前 東	9月22日(水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	アートホテル弘前シティ
	板 柳	7月27日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	板柳町商工会
	黒 石	9月 2日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	赤提灯
	大 鱈	9月 7日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	山忠会館
	弘 前 西	8月26日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテルニューキャッスル
	平 賀 ・ 尾 上	8月24日(火)	16:00～	17:00～	18:30～19:30	南田温泉ホテルアップルランド
	弘前アップル	8月23日(月)	16:30～	17:30～	19:00～20:00	弘前総合学習センター
中グループ	青 森	10月 7日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青 森 北 東	8月11日(水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青 森 中 央	7月19日(月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	ホテル青森
	青森モーニング	9月27日(月)	16:00～	17:00～		ホテル青森
		9月28日(火)			8:00～9:00	ホテル青森
南グループ	八 戸	9月15日(水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸ブランドホテル
	八 戸 東	9月24日(金)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸ブランドホテル
	三 戸	8月19日(木)	15:30～	16:30～	17:30～18:30	田岩本店
	五 戸	9月 8日(水)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	アビル五戸
	南 部	9月14日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	バーデハウスふくち
	八 戸 北	7月13日(火)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 南	7月29日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸パークホテル
	八 戸 中 央	8月30日(月)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 西	8月 5日(木)	10:00～	11:00～	12:30～13:30	きざん八戸

2021年－22年度 ガバナー公式訪問カレンダー

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
7月	11	12	13	14	15	16	17
			八戸北 10:00～13:30		三沢東 10:00～13:30		
	18	19	20	21	22	23	24
		青森中央 10:00～13:30	十和田 10:00～13:30	おいらせ 10:00～13:30	(祝日) 海の日	(祝日) スポーツの日	オリンピック休日
	25	26	27	28	29	30	31
	弘前 10:00～13:30	板柳 10:00～13:30	五所川原 10:00～13:30	八戸南 10:00～13:30			
8月	1	2	3	4	5	6	7
		鶴田 10:00～13:00	野辺地 10:00～13:30		八戸西 10:00～13:30		オリンピック休日
	8	9	10	11	12	13	14
	(祝日) 山の日	振替休日	つがる 10:00～13:30	青森北東 10:00～13:30		お盆	お盆
	15	16	17	18	19	20	21
	お盆	お盆			七戸 10:00～13:30 三戸 15:30～18:30		
22	23	24	25	26	27	28	
	弘前アップル 16:30～20:00	平賀・尾上 16:00～19:30		弘前西 10:00～13:30 鱒ヶ沢 15:30～19:00			
9月	29	30	31	1	2	3	4
		八戸中央 10:00～13:30	三沢 10:00～13:30	十和田八甲 10:00～13:00	黒石 10:00～13:30 五所川原中央 16:00～19:30		
	5	6	7	8	9	10	11
		東北 10:00～13:30	大鰐 10:00～13:30	五戸 10:00～13:30			
	12	13	14	15	16	17	18
			南部 10:00～13:30	八戸 10:00～13:30	十和田東 10:00～13:30		
19	20	21	22	23	24	25	
	(祝日) 敬老の日	むつ 10:00～13:30	弘前東 10:00～13:30	(祝日) 秋分の日	八戸東 10:00～13:30		
10月	26	27	28	29	30	1	2
		青森M 16:00～18:00	青森M 8:00～9:00 金木 16:00～19:30	むつ中央 16:00～19:30	六ヶ所 10:00～13:00		
	3	4	5	6	7	8	9
					青森 10:00～13:30		
	10	11	12	13	14	15	16
					五所川原イヴニング 15:00～18:00		地区大会
17	18	19	20	21	22	23	
地区大会							

2021-22年度 地区予算書

[事業活動収入の部]

項目	内 訳	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
地区資金	一般会費収入(@25,000円)	28,750,000	30,000,000	-1,250,000	25,000円×1,150名
	特別会費収入	3,220,000	3,360,000	-140,000	2,800円×上下期会員数(協力金)
RIガバナー基本業務交付金		868,296	885,746	-17,450	
雑収入	利息等	100	0	100	
	合 計	32,838,396	34,245,746	-1,407,350	

[事業活動支出の部]

項目	内 訳	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
1.事業支出	計	23,487,250	24,873,000	-1,385,750	
①会議・研修費支出	計	7,000,000	7,100,000	-100,000	
	会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	0	規定上限 40万地区運営資金要綱 (5)
	地区チーム研修セミナー	200,000	200,000	0	規定上限 20万以下省略 (14)
	地区研修委員会	100,000	200,000	-100,000	規定上限 20万 (15)
	地区研修・協議会	400,000	400,000	0	規定上限 40万 (1)
	IM (グループ合同会議)	600,000	600,000	0	グループ各10万×6地区 (3)
	地区大会	5,000,000	5,000,000	0	
	// (運営資金要綱によるもの)	300,000	300,000	0	規定上限 30万 (2)
②運営活動支出	計	1,000,000	1,850,000	-850,000	
	諮問委員会	250,000	400,000	-150,000	
	ガバナー補佐会議	200,000	200,000	0	
	戦略計画会議	100,000	100,000	0	
	地区危機管理委員会	50,000	50,000	0	
	// 実務活動費 (事故発生時)	100,000	500,000	-400,000	
	// RIJYEM	100,000	300,000	-200,000	保険加入
	RLI委員会	200,000	300,000	-100,000	
③委員会活動	計	5,550,000	4,620,000	930,000	
	クラブ奉仕部門 (会員増強)	300,000	350,000	-50,000	
	クラブ奉仕部門 (広報・IT⇒公共イメージ)	1,100,000	400,000	700,000	
	社会奉仕・職業奉仕部門	400,000	400,000	0	
	国際奉仕部門	300,000	0	300,000	
	ロータリー財団部門	750,000	600,000	150,000	ポリオ対策費含む
	青少年奉仕部門 (青少年交換委員会)	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会などへの参加費補助を含む
	// (インターアクト委員会)	400,000	400,000	0	
	// (ローターアクト委員会)	500,000	570,000	-70,000	
	// (ライラ委員会)	600,000	700,000	-100,000	
	米山記念奨学会部門	400,000	400,000	0	
④活動助成金支出	計	6,800,000	6,525,000	275,000	
	ガバナー活動助成金	2,000,000	2,000,000	0	規定上限 200万 (12)
	ガバナー活動 (公式訪問費用)	800,000	0	800,000	
	ガバナーエレクト活動助成金	400,000	400,000	0	規定上限 40万 (7)
	ガバナーノミニエ活動助成金	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (18)
	ガバナー補佐活動助成金	1,000,000	1,025,000	-25,000	40クラブ×25,000 規定 (6)
	青少年交換受入クラブ助成金	400,000	600,000	-200,000	受け入れクラブ20万円×2クラブ
	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	300,000	300,000	0	規定上限 30万 (8)
	ガバナーエレクト研修セミナー参加助成金	200,000	200,000	0	規定上限 20万 (16)
	国際大会地区代表出席者参加助成金	300,000	300,000	0	規定上限 30万 (11)
	RI諸事業参加助成金	1,000,000	1,200,000	-200,000	規定上限 200万 (17)
	他地区交流助成金	300,000	400,000	-100,000	タイ水事業他
⑤地区拠出金支出	計	937,250	978,000	-40,750	
	ガバナー運営協力金	230,000	240,000	-10,000	1,150名×100円×2
	ロータリー文庫協力金	345,000	360,000	-15,000	1,150名×150円×2
	米山梅吉記念館協力金	115,000	120,000	-5,000	1,150名×100円
	RI日本青少年交換委員会協力金	230,000	240,000	-10,000	1,150名×100円×2
	世界平和フェロー支援協力金	17,250	18,000	-750	1,150名×15円
⑥その他事業費	計	2,200,000	3,800,000	-1,600,000	
	表彰状・記念品代	400,000	500,000	-100,000	
	ガバナーエレクト社行会	400,000	400,000	0	規定上限 40万 (4)
	直前ガバナー引退記念品代	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (9)
	ガバナー月信	100,000	400,000	-300,000	
	送料・写真代・ファイル代支出	100,000	300,000	-200,000	
	新設クラブ助成金	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (10)
	地区規定による旅費交通費支出	1,000,000	2,000,000	-1,000,000	
2.管理費支出	計	8,600,000	8,800,000	-200,000	
	地区事務所管理費	8,300,000	8,800,000	-500,000	
	// (ガバナーエレクト分)	300,000	0	300,000	
3.特別資産取得支出	規定審議会代議員旅費助成積立金	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (13)
4.予備費支出	予備費	651,146	472,746	178,400	
	合 計	32,838,396	34,245,746	-1,407,350	

内 訳	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
一般会計収入予定額	32,838,396	34,245,746	-1,407,350	
一般会計支出予算額	32,838,396	34,245,746	-1,407,350	
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	14,797,071	14,797,071	0	2019-20年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	14,797,071	14,797,071	0	

2021-22年度 特別会計収支計算書

国際平和資金 特別会計

項目	項目 (内 訳)	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	献金収入	1,725,000	1,800,000	- 75,000	1,500円×1,150名
	雑収入			0	
	収 入 計	1,725,000	1,800,000	- 75,000	

項目	項目 (内 訳)	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
支 出	国際奉仕部門 (新規事業調査他)	300,000	1,000,000	- 700,000	
	青少年奉仕部門 (アクト交流会)	1,100,000	300,000	800,000	
	予備費 (災害支援他)	325,000	500,000	- 175,000	
	支 出 計	1,725,000	1,800,000	- 75,000	

内 訳	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	8,361,259	8,361,259	0	2019 - 20 年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	8,361,259	8,361,259	0	

米山記念奨学会 特別会計

項目	項目 (内 訳)	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	米山記念奨学会交付金	580,000	500,000	80,000	米山記念奨学会より
	米山奨学生選考試験補助費	140,500	140,500	0	米山記念奨学会より
	委員会活動費	400,000	400,000	0	地区一般会計より
	ロータリアン会費	100,000	0	100,000	登録料収入
	収 入 計	1,220,500	1,040,500	180,000	

項目	項目 (内 訳)	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考	
支 出	奨学生活動費	米山フォーラム・米山の集い	500,000	0	500,000	
		修了証書授与式	200,000	0	200,000	
		オリエンテーション・歓迎会	200,000	0	200,000	
	米山奨学生選考試験費	140,500	0	140,500		
	予備費	180,000	0	180,000		
	支 出 計	1,220,500	0	1,220,500		

2021-22年度 委員会活動予算書

部 門	項目 (内 訳)	2021-22 成田(A)	2020-21 源新(B)	増減 (A)-(B)	備 考
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	300,000	350,000	- 50,000	
	公共イメージ向上委員会	1,100,000	400,000	700,000	
社会奉仕・ 職業奉仕部門	社会奉仕・職業奉仕委員会	400,000	400,000	0	
国際奉仕部門	国際奉仕委員会	300,000	0	300,000	
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	500,000	600,000	- 100,000	
	地区補助金委員会			0	
	グローバル補助金委員会			0	
	資金推進委員会			0	
	奨学金・学友委員会			0	
	ポリオプラス委員会	250,000		250,000	ポリオ対策費
青少年奉仕部門	青少年交換委員会 (ローテックス関連含む)	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会などへの参加 費補助を含む
	インターアクト委員会	400,000	400,000	0	
	ローターアクト委員会	500,000	570,000	- 70,000	
	RYLA	600,000	700,000	- 100,000	
R 米山記念奨学部門	R 米山記念奨学委員会	400,000	400,000	0	
	収 入 計	5,550,000	4,620,000	930,000	

2021-22年度 送金カレンダー

区分	送金項目	年額/1人	送金額	摘要	納入期限	送金先	送金報告先
国際ロータリー関係	人頭分相金 (10名未満も美人数分)	\$70	\$35 × 会員数	2021年7/1 現在会員数	2021.7/31	三井住友銀行新宿通支店 普通預金 NO.6733244 国際ロータリー日本事務局	【送金明細書にて】 国際ロータリー 日本事務局 経理室 FAX: 03-5439-0405
	比列人頭分相金		半期人頭分相金 ÷ 6 × 在籍月数	2021.7/1 ~ 12/1 入会の会員数	2022.1/31		
	RI 規定審議会分相金	\$1	\$1 × 会員数	2021.1/1 ~ 6/1 入会の会員数	2022.7/31		
	「ザ・ロータリアン」誌購読料 (RI 機関雑誌)	\$24	\$12 × 購読部数	標準クラブ定款第 15 条を参照	2021.7/31		
	個人寄付・法人寄付・クラブの寄付・地区の寄付 (税制上の優遇措置対象) ※認証レベルは認証一覽参照		\$12 × 購読部数		2022.1/31		
	寄付金分類	メジャー・ドナー / アーチ・クラウン・ソサエティ		ポール・ワイルドロー/ワイルドロー/ワイルドロー/ポール・ワイルドワイルド 額 クラブ			
	年次基金-シエア	○	×	○			
	恒久基金-シエア	○	○	×			
	ポリオプラス	○	×	○			
	グローバル補助金 (GG)	○	×	○			
冠名基金 (E)	○	○	×				
年次基金使途指定寄付	○	×	○				
恒久基金使途指定寄付	○	○	×				
冠名指定寄付 (T)	○	×	×				
その他		-	-				
R 友関係	ロータリーの友 購読料	¥2,640	¥1,320 × 購読部数	途中入会は月割 ¥220	2021.7/31	三井住友銀行浜松町支店 普通預金 NO.7450015 一般社団法人ロータリーの友事務所	申込先： 一般社団法人ロータリーの友事務所 FAX: 03-3436-5956
	ロータリー・ソング・CD		¥1,320 × 購読部数	CDの種類によります。	2022.1/31		
R 米山記念奨学会	普通寄付 (会員数分をクラブで送金)	¥3,000 以上	¥1,500 以上 × 会員数	¥500 単位で増額が可能	2021.7/31	三井住友銀行京橋支店 普通預金 NO.0920373 (公財) ロータリー米山記念奨学会	【普通寄付送金明細書】 【特別寄付送金明細書】 (公財) ロータリー米山記念奨学会 FAX: 03-3578-8281
	準米山功労者		累計 3 万円以上		2022.1/31		
	米山功労者		累計 10 万円毎				
	準米山功労法人		累計 5 万円以上 50 万円未満				
	米山功労法人		累計 50 万円以上 100 万円未満				
米山特別功労法人		累計 100 万円以上					
地区関係	地区資金	¥25,000	¥12,500 × 会員数	2021年7/1 現在会員数	2021.7/31	青森銀行本店 普通預金 NO.3118385 RI 第 2830 地区資金 地区会計長 山本 晃嗣	地区事務所 FAX: 017-732-2831
	ガバナー会運営協力金	¥200	¥100 × 会員数	2022年1/1 現在会員数	2022.1/31		
	ロータリー文庫運営協力金	¥300	¥150 × 会員数	2021年7/1 現在会員数	2022.1/31		
	RIJYM 維持協力金	¥200	¥100 × 会員数	2022年1/1 現在会員数	2021.7/31		
	地区大会協力金	¥2,000	¥100 × 会員数	2021年7/1 現在会員数	2022.1/31		
	米山梅吉記念館協力金	¥100	¥100 × 会員数	2022年1/1 現在会員数	2021.7/31		
	例会時の献金			2021.7/1 ~ 12/31			
				2022.1/1 ~ 6/30			

2021-22年度 報告カレンダー

No.	報告事例	報告期限	報告先	備考
1	会員数及び出席報告	翌月 15 日必着	地区事務所	
2	クラブ計画及び目標の要約	7月 1 日まで	RI 日本事務局	RI オンラインにて「クラブセントラル」に入力
3	クラブ活動計画書	公式訪問の 2 週間前	ガバナーへ送付 (1 部) ガバナー補佐へ送付 (1 部) 地区事務所へ送付 (1 部) ※送付先については下記の通り お問い合わせは地区事務所へ	
4	職業分類表			
5	次年度クラブ会長・幹事報告 (公式名簿記載資料)	12月 31 日まで	RI 日本事務局	RI オンライン入力
6	国際大会信任状証明書及び 投票代議員カード	4 月末日まで	地区事務所	用紙は 3 月頃 RI 世界本部よりメールにて配信
7	地区大会・選挙人証明	地区大会	地区大会選挙委員会 (地区事務所)	《参考》RI 細則第 16 条
8	入会、退会届	その都度	RI 世界本部	RI オンライン入力
9	入会、物故届 (月信用)	翌月 10 日まで	地区事務所	月信掲載報告書に写真を添えて E-mail 又は FAX
10	①クラブ会長、幹事職業分類、 例会場、日時	その都度	RI 日本事務局 地区事務所 ロータリーの友事務所	用紙の指定のないものは任意の様式で
	②所在地域、 クラブ名称の改正			
	③ローターアクト、 インターアクト関係			
	④クラブに関する その他の報告			

◆報告先住所

ガバナー送付先：秀和設計コンサルタント(株) 代表取締役 成田 秀治
〒 038 - 3141 つがる市木造浮巢 97 - 2 E-mail:shuwa-narita @ aomori-net.ne.jp

ガバナー補佐送付先：
東第 1 グループガバナー補佐：青森風力開発(株) 代表取締役 岡山 信広
〒 039 - 3215 上北郡六ヶ所村大字倉内字笹崎 1050 - 1 E-mail : nobmrs @ jomon.ne.jp

東第 2 グループガバナー補佐：(有)まきば商事 代表取締役 小比類巻雅祥
〒 033 - 0001 三沢市中央町 3 - 13 - 3 E-mail : kohi @ infoaomori.ne.jp

西第 1 グループガバナー補佐：つがる地球村(株) 館長 今 淳一
〒 038 - 2817 つがる市森田町床舞藤山 244 E-mail : tsugaru @ chikyuumura.co.jp

西第 2 グループガバナー補佐：(株)丸源産業 代表取締役 工藤 昭義
〒 038 - 3672 北津軽郡板柳町灰沼字玉川 45 - 1 E-mail : marugen @ triton.ocn.ne.jp

中グループガバナー補佐：(有)クリエイティブ・ワン 代表取締役 蒔苗亜希子
〒 030 - 0904 青森市茶屋町 23 - 9 E-mail : a-kikuchi @ creative-one.jp

南グループガバナー補佐：(株)岩岡 代表取締役 岩岡 隆雄
〒 039 - 1121 八戸市卸センター 2 丁目 7 - 13 E-mail : t_iwaoka1956 @ iwaoka.jp

ロータリー関係事務所一覧

◆国際ロータリー世界本部

Rotary International World Headquarters	One Rotary Center, 1560 Sherman Ave. Evanston, Illinois 60201-3698, U.S.A. 電話：1 (アメリカの国番号) -847-866-3000 FAX：1-847-328-8554 ※ご契約の電話会社によりまして、識別番号が必要な場合がございますのでご注意ください。
--	--

◆国際ロータリー日本事務局

住所・FAX	〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24F FAX (共通) : 03-5439-0405
クラブ・地区支援室	電話：03-5439-5800 (定款・細則、クラブ・地区運営、My ROTARYアカウント登録)
財 団 室	電話：03-5439-5805 (財団への寄付、認証、補助金)
経 理 室	電話：03-5439-5803 (人頭分担金・寄付の入金処理)
業 務 推 進・IT室	電話：03-5439-5802 (認証品発送、電子資料案内、システム関連)

ガバナー会事務局	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3433-6497 FAX：03-3433-7395 E-mail:govkai@orange.ocn.ne.jp
----------	---

RIJYEM事務所 (一般社団法人 国際ロータリー 日本青少年交換多地区合同機構)	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-6431-8106 FAX：03-6431-8107 E-mail:rijyem@air.ocn.ne.jp
---	--

ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話：03-3433-6456 FAX：03-3459-7506
---------	--

一般社団法人 ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3436-6651 FAX：03-3436-5956
----------------------	--

公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281
------------------------	--

公益財団法人 米山梅吉記念館	〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1 電話：055-986-2946 FAX：055-989-5101
-------------------	---

国際ロータリー第2830地区 地区事務所	〒030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森内 電話：017-732-2830 FAX：017-732-2831 E-mail：rid2830@outlook.jp URL：https://www.rid2830.org
-------------------------	--

2021-22年度 地区内クラブ一覧表

クラブ名	会長名	幹事名	クラブ住所	TEL/FAX E-mail		〒 例会場住所	TEL FAX		例会曜日	例会時間	
				TEL	FAX		TEL	FAX			
東第1グループ	むつ	光野 雅夫	035-0071 むつ市小川町2-11-10 田名部商業協同組合内	0175-22-2663/0175-22-2663	tanashou@jeans.ocn.ne.jp	035-0021 むつ市田名部下道4 むつブランドホテル	0175-22-2331	0175-22-2332	火曜日 (第2火曜休会)	12:30	
	野辺	嶋田 幸子	039-3113 上北郡野辺町字田狭61-4	0175-64-6077/0175-64-5255	k-tsh30@wind.ocn.ne.jp	039-3131 上北郡野辺町字野辺17-1	0175-64-2512	0175-64-5255	火曜日	12:30	
	七戸	佐竹 宣俊	039-2525 上北郡七戸町字七戸123-20 七戸商店協同組合内	0176-62-2075/0176-62-5101	emacard@ia2.itkeeper.ne.jp	039-2525 上北郡七戸町字七戸123-20 七戸商店協同組合内	0176-62-2075	0176-62-5101	木曜日	12:30	
	東	北	岡山 武彦	039-2627 上北郡東北町字上栴橋17-2 (徳岡山起業)	0175-62-2269/0175-62-2281	takehiko-kigyou@aca.oune-net.jp	039-2661 上北郡東北町字上栴橋17-2 東北町商工会館	0175-63-2329	0175-63-2432	月曜日	12:30 夜間例会 火曜日18:30
	むつ中央	山元 忠男	035-0071 むつ市小川町2-11-10 田名部商業協同組合内	0175-22-2663/0175-22-2663	tanashou@jeans.ocn.ne.jp	035-0035 むつ市本町2-7 はねやホテル	0175-22-8445	0175-22-4155	水曜日 (第4水曜日)18:30	12:30	
	六ヶ所	田村 七郎	039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337	0175-69-1126/0175-69-1131	rokkasho_rc@yahoo.co.jp	039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337	0175-69-1126	0175-69-1131	木曜日	12:00	
	三沢	佐々木文仁	033-0011 三沢市幸町1丁目11番20号	0176-57-1222/0176-57-5733	misawarc2830@cocoa.ocn.ne.jp	033-0123 三沢市堀口17-128 きざん三沢	0176-54-3111	0176-54-3114	火曜日	12:30	
東第2グループ	十和田	山端 政博	034-0034 十和田市東十五番町11-3-2 (南アート印刷)	0176-22-8610/0176-22-4822	artprint@movie.ocn.ne.jp	034-0017 十和田市東二番町5-5 十和田倶楽部	0176-58-0350	0176-51-3961	火曜日	12:30	
	十和田東	茅田 一志	034-0087 十和田市西十五番町1-4 柿本 聡	090-3123-8570/0176-51-3212	kakimoto@jomon.ne.jp	034-0017 十和田市東二番町5-5 十和田倶楽部	0176-58-0350	0176-51-3961	木曜日 (月4回)	12:30	
	おいらせ	吉田 敏宏	039-2135 上北郡おいらせ町立砦76-1 南部商工(株内)	0178-56-2326/0178-56-2536	nanbushoukou@tea.ocn.ne.jp	039-2151 上北郡おいらせ町向山5丁目3331 レストラン カウヨグリーンロッヂ	0178-56-3981		水曜日	12:30	
	三沢東	阿部 康人	033-0011 三沢市幸町1丁目11番20号	0176-57-1222/0176-57-5733	misawarc2830@cocoa.ocn.ne.jp	033-0123 三沢市堀口17-128 きざん三沢	0176-54-3111	0176-54-3114	木曜日	12:30	
	十和田八甲	西橋 弘泰	034-0082 十和田市西二番町4-11	0176-24-1111/0176-24-1563	miyamoto@towada.or.jp	034-0031 十和田市東三番町37-7 サン・ロイヤルとわだ	0176-23-2266	0176-23-2627	水曜日 (第1)	12:00	
	五所川原	清藤 繁光	037-0045 五所川原市字新町41番地	0173-35-2726/0173-33-2251	tm-works@s9.dion.ne.jp	037-0053 五所川原市字布屋町25番地 ホテルサントリー五所川原	0173-34-8811	0173-34-8816	水曜日	12:30	
	金木	工藤 文久	037-0202 五所川原市金木町玉水180-7 (南荒陶商店内)	090-3367-1126/0173-52-5339		037-0202 五所川原市金木町朝日山468-1 奴寿し	0173-52-2039	0173-53-3505	火曜日	18:30	
西第1グループ	鱒ヶ沢	番場 幸浩	038-2701 西津軽郡鱒ヶ沢町大字北浮田町字今須87-1 社会福祉法人つくし会内	0173-72-7111/0173-72-7058	morio3678@gmail.com	038-2761 西津軽郡鱒ヶ沢町舞戸町字下富田26-1 水軍の宿	0173-72-6511		木曜日 (第2-4)	18:00	
	鶴田	坂本 幸光	037-0004 五所川原市大字唐笠柳字藤巻522-9 (鶴サカモト住建内)	0173-38-3393/0173-34-6776	sakamoto_j@tulip.ocn.ne.jp	038-3503 北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200-1 鶴田町国際交流会館101研修室	0173-34-8811	0173-34-8816	木曜日	18:30	
	五所川原中央	宮崎 敬也	038-2321 西津軽郡深浦町大字戸字家野上104-3	0173-82-0755/0173-82-0756	shyayek_0518@yahoo.co.jp	037-0053 五所川原市布屋町25番地 ホテルサントリー五所川原	0173-34-8811	0173-34-8816	木曜日	18:30	
	つがる	奈良 昭仁	038-3145 つがる市木造千代町34-1	0173-42-5511/0173-42-3272	tugatu_rotary@yahoo.co.jp	038-2811 つがる市森田町上相野若緑61 つがる市森田農作物改良センター	0173-42-7575		火曜日	12:30	
	五所川原イグニフ	古川 勝治	037-0104 つがる市稲垣町豊川初瀬山9番地1	0173-26-7420/0173-26-7421	mail@sasaki-cs.sakura.ne.jp	037-0053 五所川原市布屋町25番地 ホテルサントリー五所川原	0173-34-8811	0173-34-8816	木曜日 (第2-4)	16:30	

クラブ名	会長名	幹事名	〒 クラブ住所	TEL/FAX E-mail		〒 例会場住所	TEL FAX		例会曜日	例会時間
				TEL	FAX		TEL	FAX		
西第2グループ	弘前	山崎 均	036-8354 弘前市上鞆町24-1 ホテルニューキャッスル 5F	0172-33-7678/0172-33-5250	0172-36-1211	036-8354 弘前市上鞆町24-1 ホテルニューキャッスル	0172-36-1211	月曜日	12:30 (月1回)18:30	
	弘前	東 高 弘幸	036-8354 弘前市上鞆町24-1 ホテルニューキャッスル 5F	0172-33-7678/0172-33-5250		036-8004 弘前市大町1-1-2 アートホテル弘前シティ	0172-37-0700	水曜日	(月3回)12:30 (2カ月に1回)18:00	
	板	柳 渡部 司	038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字栗田45-17	0172-73-3247/0172-73-3922	0172-73-3254	038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字栗田30-7 板柳商工会館2階	0172-73-3652	火曜日	12:30	
	黒	石 増川 博基	036-0307 黒石市大字市ノ町5-2	0172-52-4316/0172-52-9997	0172-52-7336	036-0304 黒石市甲斐兵衛町36	0172-52-7336	木曜日	(第1・3)12:30 (第2・4)18:30	
中グループ	大	鱒 宮腰 浩一	038-0212 南津軽郡大鰐町大字蔵館字湯ノ沢4-3 大鰐振興内	0172-47-9040/0172-48-2875		038-0211 南津軽郡大鰐町大鰐字大鰐59-3 山忠	0172-48-5038	火曜日	12:30	
	弘前	西 長谷川正之	036-8036 弘前市鉄砲町1-1	0172-32-7731/0172-32-7732		036-8354 弘前市上鞆町24-1 ホテルニューキャッスル	0172-36-1211	木曜日	(第1・4)12:30 (第2・3)18:30	
	平賀・尾上	齋藤 憲法	036-0111 平川市八和森上平田1-5 (株)メンテック・ヒロ内	0172-44-1456/0172-44-1457		036-0114 平川市町居南田166-3 南田温泉ホテルアプルランド	0172-44-3711 0172-44-3771	火曜日	(第2・4)18:30	
	弘前アプル	竹浪 大輔	036-8086 弘前市田園1丁目12-1 IAネットワーク(株)内	0172-27-1333/0172-27-1245	info@hirosakiapple-re.org	036-8085 弘前市大字米広4丁目10番地1	0172-26-4800 0172-26-2250	月曜日	19:00	
南グループ	青	森 竹内 通昭	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	017-775-4141	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	木曜日	12:30	
	青	森 北 東	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	017-775-4141	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	水曜日	12:30	
	青	森 中央	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	017-775-4141	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	月曜日	12:30	
	青	森 モーニング	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821/017-777-9691	017-775-4141	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141	火曜日	8:00	
南グループ	八	戸 小井田和哉	031-0031 八戸市番町14 八戸ブランドホテル内	0178-43-0608/0178-43-0661	0178-46-1234	031-0031 八戸市番町14 八戸ブランドホテル	0178-46-1234 0178-46-1249	水曜日	12:30	
	八	戸 東	031-0031 八戸市番町14 八戸ブランドホテル内	0178-43-0608/0178-43-0661	0178-46-1234	031-0031 八戸市番町14 八戸ブランドホテル	0178-46-1234 0178-46-1249	金曜日	12:30	
	三	戸 工藤 高明	039-0144 三戸市三戸町大字六日町16-1 (株)坂本印刷所内	0179-22-0171/0179-22-0163		039-0131 三戸市三戸町大字二日町102-1	0179-23-3231 0179-22-3231	水曜日	12:30	
	五	戸 丸山 忍	039-1533 三戸市五戸町字上大町34-2 (南高賢燃料 内)	0178-62-2551/0178-62-5892		039-1548 三戸市五戸町新町34-3 アピル五戸	0178-62-2011 0178-62-5955	水曜日	12:30	
南グループ	南	部 島口 英知	039-0611 三戸市南郷町大字斗賀字上平13-32 南郷町商工会内	0178-75-1133/0178-75-1131		039-0611 三戸市南郷町大字斗賀字上平13-32 南郷町商工会	0178-75-1133 0178-75-1131	火曜日	12:30	
	八	戸 北	031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル内	0178-44-3121/0178-44-3128	s2830n@ae.auone-net.jp	031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128	火曜日	12:30	
	八	戸 南	031-0003 八戸市吹上1丁目15-90 八戸パークホテル内	0178-43-1111/0178-43-0264	hsrclub2830@cd.hi-net.ne.jp	031-0003 八戸市吹上1丁目15-90 八戸パークホテル	0178-43-1111 0178-43-0264	木曜日	12:30	
	八	戸 中央	031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル内	0178-44-3121/0178-44-3128	s2830n@ae.auone-net.jp	031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸プラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128	月曜日	(第1・3・4)12:30 (第2)18:30	
八	戸 西	031-0072 八戸市城下4丁目9番5号 (株)STARS 内	0178-51-8642/0178-51-8643	hwrc@stars.aomori.jp	039-1103 八戸市長苗代前田32-1 きざん八戸	0178-70-1155 0178-70-1157	木曜日 (月3回)	(第1・3)12:30 (第2)18:30		

2021-22年度 RI第2830地区 地区事務所

役 職	氏 名	所属クラブ
地 区 ガ バ ナ ー	成 田 秀 治	五所川原イヴニング
顧問・パストガバナー	島 村 吉三久	五所川原イヴニング
地 区 財 務 長	三 戸 靖 史	五所川原イヴニング
地区ロータリーの友委員	寺 田 政 史	五 所 川 原 中 央

地区事務所スタッフ

地 区 幹 事 長	総務、企画、諮問委員会担当	澁 谷 省 吾	五所川原イヴニング
地 区 副 幹 事 長	DTTS・PETS副実行委員長・月信	木 皮 美 賀	五所川原イヴニング
地 区 副 幹 事 長	地区研修・協議会実行委員長	山 中 たける	五所川原イヴニング
地区副幹事長・財務長	地区大会実行委員長	三 戸 靖 史	五所川原イヴニング
地 区 会 計 長		山 本 晃 嗣	五所川原イヴニング
地 区 幹 事	月信・IT担当	成 田 朋 広	五所川原イヴニング
	GE壮行会実行委員長	成 田 和 代	五所川原イヴニング
	公式訪問・各種事業対応	松 橋 幸 治	五所川原イヴニング
	公式訪問・各種事業対応	下 山 智	五所川原イヴニング
	公式訪問・各種事業対応	長谷川 裕 紀	五所川原イヴニング
	地区研修・協議会担当	工 藤 大	五所川原イヴニング
	国際大会・エクスカージョン担当	長 利 礼 治	五所川原イヴニング
	公式訪問担当	小田桐 浩	五所川原イヴニング
	月信・IT・Zoom担当	赤 城 麻依子	五所川原イヴニング
	地区大会・クラブ会長	古 川 勝 治	五所川原イヴニング
	地区大会・クラブ幹事	佐々木 一 仁	五所川原イヴニング
	DTTS・PETS実行委員長	花 田 勝 彦	五 所 川 原
	記録・各種事業対応	高 瀬 英 人	五 所 川 原
	総務・企画・各種事業対応	平 山 敦 士	五 所 川 原
	地区研修・協議会・総務担当	小山内 修	五 所 川 原 中 央
地区大会・企画担当	武 井 匡	五 所 川 原 中 央	
事 務 局	地区事務所専任	浅 利 育 子	

地区事務所所在地	〒030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森内 TEL:017-732-2830 FAX:017-732-2831 E-mail: rid2830@outlook.jp 【執務時間】 平日 午前 9:00~午後 5:00
----------	---

ホ ス ト	五所川原イヴニングロータリークラブ
コ ・ ホ ス ト	五所川原ロータリークラブ、金木ロータリークラブ、鱒ヶ沢ロータリークラブ、 鶴田ロータリークラブ、五所川原中央ロータリークラブ、 つがるロータリークラブ



SERVE TO CHANGE LIVES

国際ロータリー第2830地区

地区規定

地区資金規定	32
地区運営資金要綱	34
会合旅費等負担一覧表	35
国際平和資金規定	38
地区表彰実施要綱	39
ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明 (ロータリークラブ)	42
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (ローターアクトクラブ)	44
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (インターアクトクラブ)	46
ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会	48
危機管理委員会規定	49

国際ロータリー第2830地区 地区資金規定

第1条 (総則)

国際ロータリー第2830地区の地区資金は本規定に基づいて管理運営する。

第2条 (会計年度)

地区資金の会計年度は7月1日から翌年6月30日までとする。

第3条 (地区財務委員)

地区ガバナーは地区資金運営のため、地区財務委員を任命する。地区財務委員は3名とし、その任期はそれぞれ3年、2年、1年とする。

委員は委員会を構成し、2年委員が委員長となる。

第4条 (地区財務委員会の任務)

- (1) 地区財務委員会はガバナーが地区管理に必要な経費を調査研究し各クラブに負担要請の額を決定する。
- (2) 各クラブの負担額の決定及び変更は、地区研修・協議会、地区大会又はクラブ会長エレクト研修セミナーに出席した次期又は現会長の4分の3以上の承認を必要とする。
- (3) 委員会は、ガバナーの命に基づき、前項により決定された負担額の納入状況を管理する。
- (4) 委員長は、当該年度が終了したあと地区資金決算書を作成し、直前ガバナーに提出し、その結果を各クラブに報告する。

第5条 (地区会計長)

ガバナーは地区資金の保管出納のため、地区会計長を任命する。

地区会計長は本規定に定められた資金の他、地区で扱う資金すべての保管出納の任に当たる。

地区会計長は毎年末、地区財務委員会に支払明細書を提出する。

第6条 (地区資金の払込)

- (1) 地区財務委員長は決定された各クラブ負担額を各期首会員数並びに振込口座を明示して請求する。各クラブの負担額については
 - イ. 各クラブの負担額は会員1人当たり半期ごとに1万2千5百円を乗じた金額とする。

但し、衛星クラブの負担額は会員1人当たり半期ごとに6千2百50円を乗じた金額とする。

ロ. 地区はイ. に拘わらず、各クラブから申請があった場合には、会員1人当たりの負担額を当該会員についてそれぞれに記載する金額とすることができる。

1. 配偶者会員：会員の配偶者を会員とするときは半期ごとに2千5百円
2. 後継者会員：会員の事業後継者を会員にするときは半期ごとに5千円

ハ. 各クラブは地区に上記（配偶者会員・後継者会員）の適用を求めるときは別紙様式によりグループを担当するガバナー補佐を通じて申請することとする。

ニ. 地区は諮問委員会に当該申請について報告するものとする。

- (2) 各クラブは毎年7月1日及び1月1日現在の会員数（名誉会員を除く）により請求された負担額をその月中に財務委員長の指定する口座に振込まなければならない。会員数はR Iに報告された員数と合致しなければならない。
- (3) 新設クラブはR I承認の翌月から月割で負担する。

第7条 (地区資金の支出と収支報告)

- (1) 地区資金の支出は地区各委員長の活動計画表に基づき地区委員長の請求書（後日領収書提出）又は領収書の提出により、地区会計長がガバナーの決裁を経て、その都度支払うものとする。
- (2) 資金の交付を受けて活動する場合は、年度終了後2ヶ月以内に、その活動項目と収支の明細を、ガバナーに報告しなければならない。
- (3) 上記は地区資金の他、国際平和資金等の資金すべてに適用する。
- (4) その他、活動計画外の資金は予めガバナーの承認を得た上で支出する。

第8条 (地区資金の使途)

地区資金は次の費用に使用する。

- (1) 地区運営資金

- (2) 青少年奉仕活動資金
- (3) その他ガバナーが必要と認め諮問委員会の承認を得た資金

第9条（地区運営資金）

地区運営資金は次の各号に要する費用とし、その額は地区運営資金要綱に定める。

- (1) 地区研修・協議会
ホストクラブに対する補助
- (2) 地区大会
ホストクラブに対する補助
- (3) インターシティ・ミーティング（I M）
ホストクラブに対する補助
- (4) ガバナーエレクト壮行会
- (5) クラブ会長エレクト研修セミナー（P E T S）
ホストクラブに対する補助
- (6) ガバナー補佐活動助成金
- (7) ガバナーエレクト活動助成金
- (8) ガバナーエレクト国際協議会参加への助成
- (9) ガバナー離任時に贈る記念品代
- (10) 地区拡大助成金
- (11) 国際大会地区代表出席者参加への助成金
- (12) ガバナー関連活動費
(公式訪問に対する助成、前年度承認されたクラブの認証伝達式に出席する直前ガバナー交通費、宿泊費を含む。)
- (13) 規定審議会代議員への参加費助成金
- (14) 地区チーム研修セミナー（D T T S）に対する補助
- (15) 地区研修委員会に対する補助
- (16) ガバナーエレクト研修セミナー（G E T S）参加に対する補助
- (17) 国際ロータリー諸事業参加助成金
- (18) ガバナーノミニー助成金
- (19) 表彰費
別に定める地区表彰実施要綱による。
(但し、状況により支出しないことがある。)
- (20) その他、地区内外の会合に出席する者に対する交通費・宿泊費のうち諮問委員会の承認を得て行う補助（但し、地区資金状況により支出しない事もある。会場所在市町村在住者には支出しない。)

第10条（本規定の改廃）

本規定の設定改廃は地区研修・協議会、又は地区大会において出席した次期又は現会長の4分の3以上の賛成を得て行う。

第11条（本規定の施行時期）

- (1) 本規定は2008年7月1日より施行する。
- (2) 本規定は2012年7月1日より改定施行する。
- (3) 本規定は2013年7月1日より改定施行する。
- (4) 本規定は2014年7月1日より改定施行する。
- (5) 本規定は2014年10月4日より改定施行する。
- (6) 本規定は2015年7月1日より改定施行する。
- (7) 本規定は2018年7月1日より改定施行する。
- (8) 本規定は2020年7月1日より改定施行する。
- (9) 本規定は2021年1月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 地区運営資金要綱

(1) 規定第9条の地区運営資金の額は、次のとおりとする。

(1)	地区研修・協議会	40万円以内
(2)	地区大会	30万円以内
(3)	インターシティ・ミーティング	1グループ 10万円以内
(4)	ガバナーエレクト壮行会	40万円以内
(5)	クラブ会長エレクト研修セミナー (P E T S)	40万円以内
(6)	ガバナー補佐活動助成金	1グループ所属クラブ数×25,000円
(7)	ガバナーエレクト活動助成金	40万円以内
(8)	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	30万円以内
(9)	ガバナー離任時の記念品代	10万円以内
(10)	新設クラブ助成金	10万円以内
(11)	国際大会地区代表出席者参加助成金	30万円以内
(12)	ガバナー活動費	200万円以内
(13)	規定審議会代議員旅費助成準備金	10万円以内
(14)	地区チーム研修セミナー (D T T S)	20万円以内
(15)	地区研修委員会	20万円以内
(16)	ガバナーエレクト研修セミナー (G E T S)	20万円以内
(17)	国際ロータリー諸事業参加助成金	200万円以内
(18)	ガバナーノミニール助成金	10万円以内

(2) 交通費、宿泊費は次の通りとする。

- A. 交通費 JR・私鉄・バスを利用した最短・最速の普通料金（割引運賃がある場合はそれを適用）にて支給する。
近距離や公共交通機関がない場合は別途定める。
- B. 宿泊費 実費料金での支給とし、地区外は一泊12,000円、地区内一泊10,000円を上限とする。

(3) 本要綱の改廃は、地区資金規定第10条を準用する。

(4) 本要綱は2008年7月1日より施行する。

2012年7月1日より改定施行する。

2013年7月1日より改定施行する。

2014年7月1日より改定施行する。

2015年7月1日より改定施行する。

2018年7月1日より改定施行する。

2020年7月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 会合旅費等負担一覧表

1. 地区大会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
R I 会長代理夫妻	R I	大会	大会	地区内 P G、G E、G N、A G、 地区委員は一般会員と同様に 各自の負担とする。
G 夫妻	地区	地区	大会	
ガバナー事務所関係者	地区	地区	大会	
ゲスト	大会	大会		
他地区 G、P G、G E	本人	本人	本人・大会	
姉妹地区 G、直前 G、G E	本人	大会	大会	
来日交換学生	ス C	ス C	大会	
派遣交換学生	本人	本人	大会	
R O T E X	本人	本人	大会	
R 財団学生	ス C	ス C	大会	
R 財団学友	本人	本人	大会	
R 米山奨学生	ス C	ス C	大会	
R 米山学友	本人	本人	大会	
インターアクター	ス C	ス C	大会	
ローターアクター	ス C	ス C	大会	

2. 地区研修・協議会〈クラブ・リーダーシップ研修セミナー〉

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	協	
G E、G N、P G、 次期 A G	協	協	協	
G、G E 事務所関係者	事務所	事務所	事務所	
アドバイザー、リーダー、 サブリーダー、 研修リーダー	協	協	協	
次期地区委員	C	C	C	
ゲスト	協	協		

3. クラブ会長エレクト研修セミナー (P E T S)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	P E T S	
G E、地区研修リーダー、 G N、P G、次期 A G	地区	地区	P E T S	
リーダー、サブリーダー	P E T S	P E T S	P E T S	
G、G E 事務所関係者	P E T S	P E T S	P E T S	

4. I M

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区		I M	
G E、G N	本人		I M	
G 事務所関係者	G 事務所		G 事務所	
G E 事務所関係者	G E 事務所		G E 事務所	

5. 地区委員会

	交通費	宿泊費	備 考
G	地区	地区	宿泊は原則として無 必要と認められる時は地区
担当 P G、G E、G N、A G	地区	地区	
ガバナー事務所関係者	地区	地区	
関係地区委員長及び委員	地区委員会予算	地区委員会予算	

6. インターアクト・ローターアクトの指導者講習会、年次大会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	地区	
担当 P G、G E、G N、A G	地区委員会予算	地区委員会予算	地区委員会予算	
ガバナー事務所関係者	地区	地区	地区	
関係地区委員長及び委員	地区委員会予算	地区委員会予算	地区委員会予算	

7. ガバナーエレクト壮行会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G 夫妻	地区	地区	壮行会	
G E 夫妻	地区	地区	壮行会	
P G、G N	本人	本人	本人	
次期 A G	本人	本人	本人	
次期地区委員長	本人	本人	本人	
次期クラブ会長及び幹事	本人	本人	C	
G 事務所関係者			地区	
G E 事務所関係者	G E 事務所	G E 事務所	G E 事務所	

8. 地区研修委員会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	本人	本人		
G E、地区研修リーダー	地区	地区		
次期 A G	地区	地区		
G E 事務所関係者	地区	地区		

9. 地区チーム研修セミナー (DTTS)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	本人	本人		原則として宿泊は無 必要と認められた時は地区
G E、地区研修リーダー、 担当 P G	地区	地区		
次期 A G、次期地区委員長	地区	地区		
次期地区委員	地区	地区		
G E 事務所関係者	地区	地区		

10. 友好地区交流事業

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
当地区関係者	本人	本人	本人	
友好地区関係者	本人	本人	交流会	

11. 地区指導者育成セミナー

地区大会に付随して開催されるので、交通費その他は地区大会規定に基づくものとする。

【附則】

1. 前各項の会合と同日に諮問委員会が開かれる場合は、諮問委員会出席義務者の旅費は地区で支払う。会合側では支払わない。

※ガバナー事務所関係者やガバナーエレクト事務所関係者が、諮問委員会へ出席を要請されて出席した場合には、上記に準じて旅費を支払う。

2. 前各項において出席者が地元（同一グループ）の場合には交通費、宿泊費を支給しない。

3. (地区外会合旅費等負担に関する件)

ゾーン・全国規模のセミナー等の場合、出席義務のある委員長・P G (ゾーン・全国の役員含む) 及びその代理者の旅費等はガバナーの指名した範囲で地区負担とする。

4. (副ガバナーのガバナー代行に関する件)

副ガバナーがガバナーの代理として地区内の会合に出席する場合、旅費等の負担はガバナーの欄を適用する。

※地区会合旅費等負担に関する規定の改定は地区資金規定第10条を準用する。

- ◎ R I：国際ロータリー、 G：ガバナー、 P G：パストガバナー、 G E：ガバナーエレクト、
G N：ガバナーノミニ、 C：クラブ、 S C：スポンサークラブ、 A G：ガバナー補佐、
R O T E X：元青少年交換学生、
ガバナー事務所関係者：地区幹事長・地区財務委員長・地区会計長・ガバナー事務所事務局員
ガバナーエレクト事務所関係者：次期地区幹事長・次期地区財務委員長・次期地区会計長・
ガバナーエレクト事務所事務局員

○2015年7月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 国際平和資金規定

国際平和資金は下記の事項に支出できるものとする。

1. 世界社会奉仕プロジェクトおよびプロジェクト参加に必要な経費。
2. 世界および日本の災害救援プロジェクト。
3. 世界社会奉仕プログラムの理念*に合致し、諮問委員会の審議を経て承認された国際奉仕部門および青少年奉仕部門のプログラム。

※世界社会奉仕プログラムの理念

世界社会奉仕プログラムは、国際奉仕に属する活動であって、ロータリアンはこのような活動を通じて、人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクトを実施する。そして、物質的、技術的、専門的援助を通じて、国際理解と親善を推進する。

(2010年ロータリー章典 41.080より)

○本規定は2012年7月1日より有効とする。

地区表彰実施要綱

1. R I、R財団及び地区の行う各種の表彰は、本要綱により地区表彰委員会が選考して実施する。
2. 表彰委員会の構成員はガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト及び各ガバナー補佐をもって構成する。

＜R I 表彰＞

イ) クラブの表彰

- ①ロータリー賞（ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ）
- ②意義ある奉仕賞
- ③世界インターアクト週間の表彰
- ④世界ローターアクト週間の表彰
- ⑤インターアクト・ビデオ賞
- ⑥卓越したローターアクト・プロジェクト賞

ロ) 個人の表彰

- ①奉仕部門賞（地区による表彰）
- ②奉仕部門賞（R Iによる表彰）
- ③ロータリー財団功労表彰
- ④ロータリー財団特別功労賞
- ⑤ロータリー財団地区奉仕賞
- ⑥超我の奉仕賞
- ⑦ポリオのない世界を目指す奉仕賞
- ⑧ポリオプラス・パイオニア賞

ハ) ロータリアン以外の表彰

- ①ロータリー最優秀学友会賞
- ②ロータリー学友世界奉仕賞
- ③ロータリー人道奉仕功労賞

＜地区表彰＞

- イ) 奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン
- ロ) 会員増強優秀クラブ
- ハ) 出席成績優秀クラブ
- ニ) 広報活動優秀ロータリークラブ
- ホ) ロータリー財団寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ヘ) 米山記念奨学会寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ト) 国際平和資金寄付優秀クラブ
- チ) 長寿ロータリアン
- リ) その他当委員会で適当と認めたもの

3. 表彰基準

＜R I 表彰＞

R Iの表彰基準による。各クラブへ公示し、ガバナーが判断しR Iに推薦決定、審査される。

〈地区表彰〉

地区の行う各種表彰は、以下の基準によるものとする。ただし、表彰委員会の判断により、その年度の個別事由により本基準の主旨に沿った上での変更は認めるが、その際は、その後開催される地区諮問委員会に報告するものとする。

イ) 奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン

①クラブ表彰

当年6月末日までにガバナー補佐を通じて、各グループ内から奉仕活動優秀クラブを地区表彰委員会に提出させ審査の上、各部門に於いてそれぞれ最も優れたクラブを決定し表彰する。

②ロータリアン表彰

- ・表彰者の決定は前項に準ずるが、表彰に際しては、表彰状に添えて記念品を贈呈する。
- ・ガバナー補佐又はクラブ会長が表彰を申請するに当たっては文書のみにより優秀性が判定出来るだけの業績を必ず添付するものとする。

③特別表彰をガバナーが実施する。

ロ) 会員増強優秀クラブ

- ・前年度中に於ける会員の純増加数が5名以上又は増加率が10%以上のクラブとし、(同率の場合は同順位とする) 表彰する。

ハ) 出席優秀クラブ

①クラブ表彰

- ・プラチナ賞 (例会月4回、95%以上)
- ・ゴールド賞 (例会月3回以下、95%以上)
- ・シルバー賞 (例会月4回、90～95%未満)
- ・ブロンズ賞 (例会月3回以下、90～95%未満)

ニ) 広報活動優秀ロータリークラブ

週報の発行や地域社会で広報活動の優秀なクラブを表彰する。

ホ) ロータリー財団寄付優秀クラブ及びロータリアン (新P H F)

①クラブ表彰

- ・直近5年間 (設立5年間未満の場合は設立から) の平均を上まわったクラブ (ただし地区目標を上まわったクラブ)

②ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新P H F全員及び大口寄付者等、委員会で認めたものとする。
- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

ヘ) 米山奨学会寄付優秀クラブ及びロータリアン

①クラブ表彰

- ・直近5年間 (設立5年間未満の場合は設立から) の平均を上まわったクラブ (ただし地区目標を上まわったクラブ)

②ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新米山功労者全員とする。
- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

ト) 国際平和資金寄付優秀クラブ

①クラブ表彰

- ・当該年度中の1人当たりの寄付金額（年間の寄付金額を6月末現在の会員数で除した金額）の多いクラブから5位までを優秀クラブとする。

チ) 長寿ロータリアン

- ・当年6月末日までに満80歳及び90歳に達したロータリアンに記念品を贈呈する。

4. 上記各種表彰は、地区大会又は地区研修・協議会等に於いて実施する。

5. 本要綱の設定改廃は、地区表彰委員会が発議し、地区諮問委員会の承認を得るものとする。

2021－22年度 ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明（ロータリークラブ）

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規にRIに加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格にある「正規にRIに加盟している」とは、RIからのクラブ請求書の金額を遅延なく（国際ロータリーから60日未納の催促通知が発行されることなく）全額支払ったクラブを意味します。クラブがRI請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARYの「クラブの運営」>「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高（毎日更新）レポートでご確認ください（このレポートで未納金残高が0ドルとなっていること）。RIからの請求額は、1月中旬または7月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、すぐにお支払いください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指すにあたり、ロータリークラブ・セントラルから25の目標のうち少なくとも13の目標を選ぶことができますようになります。このような柔軟性が適用されたことにより、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことが可能となります。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ・ロータリークラブ・セントラルを開く
- ・25の目標に目を通す
- ・その中から13の目標（または全目標の51%以上）を選ぶ
- ・選んだ目標を達成する
- ・ロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び、「すべて」をクリックしてください。

目 標	目 標 の 詳 細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数

目 標	目 標 の 詳 細
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する 青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する 青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA参加者	本ロータリー年度にクラブが支援するRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の 存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式 推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料）使用した回数

2021-22年度 ロータリー賞の目標と 達成のワークシート(ローターアクトクラブ)

ロータリー賞(ローターアクトクラブ)は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の22の目標のうち、少なくとも12の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指することができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのワークシートをご利用ください。また、推薦フォームを記入する際にも参考としてください。

ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- ・22の目標の詳細に目を通す
- ・少なくとも12の目標を選ぶ
- ・達成したい目標を選び、「目標の設定」の欄に印をつける
- ・クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- ・年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- ・スポンサークラブまたはローターアクトクラブ会長が、8月15日までにオンラインの推薦フォームを提出する。フォームの記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、ローターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。

ロータリー賞のカテゴリ	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を_____名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、_____名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなる会員数を_____名とする。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、_____回のリーダーシップ育成または職業能力開発プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に_____名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなる会員数を_____名とする。		
地区研修への参加	_____名のクラブ会員が地区の研修行事に出席する。		
ラーニングセンターの利用	_____名のクラブ会員がラーニングセンターにアクセスし、それらの会員が_____のコースを完了する。		
年次基金への寄付	ロータリー年次基金にクラブから寄付を行う。また、これらの寄付がローターアクトの寄付の達成証を得る要件を満たしているか確認する。		

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
ポリオプラス基金のための活動	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、_____件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサークラブと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある地域社会または国際奉仕プロジェクトを実施する。		
ローターアクトクラブの数	本ロータリー年度に_____つのローターアクトクラブをスポンサーする。		
インターアクトクラブ	本ロータリー年度に_____つのインターアクトクラブを共同スポンサーする。		
RYLAへの参加	_____名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の計画に関わる、またはRYLAに参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	ロータリープログラム（RYLA、新世代交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
オンラインでの存在感	クラブのオンラインページは、現在の活動状況を正確に伝えている。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月_____回更新する。		
交流活動	本ロータリー年度、通常の例会以外に_____回の交流行事を開く。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界ローターアクト週間に行ったイベントや活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でローターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。		
クラブの推進	卓越したローターアクトプロジェクト賞にクラブの優れたプロジェクトを応募する。		

2021-22年度 ロータリー賞の目標と達成の ワークシート（インターアクトクラブ）

ロータリー賞（インターアクトクラブ）は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の20の目標のうち、少なくとも11の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのワークシートをご利用ください。スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーがオンラインの推薦フォームを用いてクラブの達成を報告する際にも、このワークシートを参照できます。

ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- ・20の目標の詳細に目を通す
- ・クラブのアドバイザーからの指導を受け、11の目標を選ぶ
- ・達成したい目標を選び、「目標の設定」の欄に印をつける
- ・クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- ・スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーが年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- ・スポンサークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーと協力し、8月15日までにオンラインの推薦フォームを提出する。書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、インターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。また、成人のアドバイザーが、6月30日までにアドバイザーの氏名と連絡先情報をロータリーに提出している必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を_____名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、_____名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループとの関わり	本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、_____回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に_____名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動との関わり	本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。		
地区研修への参加	クラブ会員が地区の研修行事に出席する。		

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
ラーニングセンターの利用	本ロータリー年度に、クラブのアドバイザーまたは1名の会員が、ロータリーのラーニングセンターで奉仕について学ぶオンラインコースを修了する。		
年次基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。		
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、_____件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサーロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。		
RYLAへの参加	_____名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）に参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		
学友の参加	スポンサーロータリークラブと協力して、卒業するインターアクターにローターアクトクラブ（大学基盤または地域社会基盤のどちらか）を紹介する。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月_____回更新する。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界インターアクト週間に行った活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ブランドリソースセンターの利用	ロータリーのブランドを正しく反映したロゴや資料の作成において、ブランドリソースセンターを利用する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でインターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。		
クラブの推進	毎年のインターアクト賞に参加する。		

ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会

区 分	資 格	職 務	備 考
ガバナー指名委員会	最近5人のパストガバナーで構成する。	地区ガバナーの指名に当たる。	
地区諮問委員会	パストガバナーをもって構成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガバナーの要請により重要事項の諮問に預かる。 2. ガバナーの要請により重要会議のコーディネーター、パネリストの他、地区代議員等の職務に就く。 	ガバナーエレクトおよびガバナーノミネーは地区諮問委員会にオブザーバーとして出席する。又幹事長、次期幹事長等もガバナーの要請があればオブザーバーとして出席する事が出来る。

※旅費は資金規定の定めるところにより支給される。

国際ロータリー第2830地区 危機管理委員会規定

(名 称)

第1条 国際ロータリー第2830地区は、危機管理委員会（以降、「本委員会」と称する）を設置し、その組織及び運営に必要な事項に関して、この規定を定める。

(設立趣旨)

第2条 本委員会は、国際ロータリー第2830地区（以下、単に「地区」と言う）が実施する事項に関し、地区内各ロータリークラブ及びロータリアンにとって「好ましくない事態の全て」を「危機」とし、当委員会に報告のあった危機事案が当委員会の対処すべき事案であるか否かの判断を行った上で、その予防と対処、解決のために必要な提言、指導、助言を行うことを任務とする。

但し、ロータリークラブ内、或いはロータリアン相互間の人的・内的諸問題は除く。

(対象プログラム：特に青少年奉仕関連プログラム)

第3条 本委員会の対象とするロータリーのプログラムは、前条の「危機」が発生する分野全てとなるが、20歳以上の成人が関与する場合は、日本国の法律に準拠することを原則とし、本委員会の対処すべき事案と看做さない場合がある。

青少年奉仕（新世代育成）プログラム、すなわち青少年交換・インターアクト・ローターアクト・RYLA・米山記念奨学等のプログラムにおいては、それに参加する全ての青少年（新世代）が、安全かつ健全な生活を送れるよう、生活の場で起こりうる交通・自然災害、テロ、身体的・性的・精神的侵害ないし虐待（ハラスメント）、政治的・民族的紛争などの危機に対応する。この青少年奉仕関連プログラムは、本委員会の重要対象として位置付けることとする。

(委員会の任務・業務)

第4条 本委員会は、次に掲げる任務・業務を行う。

- 1) 委員会任務：委員長によって招集された本委員会は、事態発生の場合、事実関係を調査し、対応を協議する。
- 2) 通 報：本委員会は、当該被害者及び申し立て人よりの事情聴取調査、その他必要な調査の後、法令に基づく所定の機関への通知などの要否を判断する。申し立てられた内容が犯罪に該当する場合は、速やかに刑事関係機関に通報する。
- 3) 保 護：本委員会は、該当被害者の身体、身分の保護を最優先に対処するとともに人権にも留意する。特に、将来ある青少年のため、国際ロータリーはいかなる虐待やハラスメントも容認しない「非寛容」方式を各地に要請している。本委員会も厳格な規律をもつとともに、特に未然防止に努めることを主眼とする。
- 4) 連 絡：本委員会は、必要と認めた場合には、事情聴取調査の結果を速やかに地区ガバナーへ報告し、地区ガバナーは、原則として72時間以内に、国際ロータリーに報告する。
- 5) 広 報：報道機関等の外部への対応は報道担当委員がこれに当たる。報道担当委員以外は、本委員会といえども、外部への一切の発言はこれを禁止する。
- 6) 守 秘 義務：本委員会の委員は、その任務を遂行上知り得た情報を、外部及び他のロータリアン等に口外してはならないし、またその期間を設けない。
- 7) 研 修：本委員会は、年1回以上の委員会会議を開催する。また危機管理についての研修を必要に応じて開催する。
- 8) そ の 他：その他、危機管理、防止などに必要な業務を行う。

(委員会の組織)

第5条 危機管理委員会は下記委員をもって組織する。

- 1) 当該年度の地区ガバナーが指名するパストガバナー、またはガバナー補佐を委員長とし、直前ガバナー、ガバナーエレクト、国際奉仕委員長、青少年奉仕委員長、青少年交換委員長、ロータリー米山

記念奨学委員長、広報委員長、及びその他関連する委員会委員長・委員、そしてロータリー以外の外部有識者若干名（2名以上）をもって組織する。なお、委員には、女性、医師、弁護士を各1名以上含むものとする。

- 2) 委員長は、必要に応じて副委員長を任命することができる。
- 3) 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 4) 委員長は委員会を招集し、業務を統括する。

(保険と多地区法人への加入)

第6条

- 1) 危機管理委員会は、ロータリーの事業に携わるロータリアン及び関係社会人は、全ての個人が健康保険、生命保険等に加入していることを、その任務の前提とする。また国際間の交換学生、留学生、その他のロータリー関連事業での訪問者は、個人として、その事業の開始（出国）から終了（帰国）までの期間を包含する生命・病気・障害・損害等の保険に加入することを強く推奨する。
- 2) 近年の「危機」には、ロータリークラブレベル、さらには地区レベルでの対応可能範囲を超える規模をもつ巨大大事故、巨大災害、テロ事件、機密事項、個人情報漏洩等が含まれる。適切な地域や国の行政当局、国際機関との連携も必要となろうが、そのような事態に備えて、対応可能な保険に加入する必要が生じている。
但し、任意団体での保険加入は不可能なので、「特定非営利法人 国際ロータリー日本青少年交換委員会」(RIJYEC) 等の多地区（マルチ・ディストリクト）レベルの機関を受け皿にした保険機構への加入を推進する。

(事務所)

第7条 本委員会の事務所は地区ガバナー事務所に置く。

附 則

- 1、この規定は、2017年2月1日から施行する。
- 2、この規定の改廃は、必要に応じてガバナーが見直し、ガバナー諮問委員会に相談の上、改定することが出来る。

2021－22年度危機管理委員会

1	委員長	パストガバナー	関 場 慶 博	弘前アップル	医師
2	委 員	ガバナー	成 田 秀 治	五所川原イザニング	
3		直前ガバナー	源 新 和 彦	八戸北	
4		ガバナーエレクト	田 中 常 治	むつ	
5			花 田 勝 彦	五所川原	弁護士
6		国際奉仕委員長	白 山 春 男	十和田東	
7		公共イメージ向上委員長	上 野 実 穂	八戸中央	
8		青少年交換委員長	細 川 勝 也	弘前	
9		インターアクト委員長	松 山 隆 志	野辺地	
10		ローターアクト委員長	柴 田 文 彦	むつ中央	
11		RYLA委員長	竹 内 知 弘	弘前西	
12		米山記念奨学委員長	三 浦 順 子	弘前アップル	
13		外部有識者	白 取 静 子	外部	青森山田高校教諭
14		外部有識者	角 田 妙 子	外部	聖愛高校教諭

四つのテスト

(THE FOUR-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

ロータリーの目的

(OBJECT OF ROTARY)

2020/11 ロータリー章典より

職業奉仕の基礎として、具体的には、以下を奨励し、育む。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものとの認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

上記の職業奉仕の理想に本来込められているのは次のものである。

- 1) 雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な扱い。
- 2) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、頻繁に職業奉仕を実践することによって、クラブ自身の行動に職業奉仕を応用することによって、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を發揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らの行いと事業と職業を律すること、また、クラブが開発したプロジェクトに応えることである。

ロータリアンの行動規範

(ROTARY CODE OF CONDUCT)

2020/11 ロータリー章典より

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

Rotary
District 2830

